Panasonic

パーソナルコンピューター
操作マニュアル

品番 CF-82 シリーズ

戻る

印　刷　索 引

もくじ

もくじの項目および文中の緑色表示部にカーソルを移動すると、カーソルが に変わります。
この状態でクリックすると、操作マニュアルの該当ページが表示されます。

上手に使って上手に節電

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
付属の取扱説明書と本マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

PCJ0081K_2K/XP

使用上のお願い

操作マニュアルの表記上の規則

本書では、Windows 2000での操作を基本に説明しています。また、イラストは一部を除いて、ダブルディスプレイモデルのものを使用しています。

[スタート]-[検索] ：画面の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックします。
（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）

Enter ：キーボードのEnterキーを押します。

Ctrl + Esc ：キーボードのCtrlキーを押しながら、Escキーを押します。

Windows 2000 ：Microsoft® Windows® 2000 Professional についての説明です。

Windows XP ：Microsoft® Windows® XP Professional についての説明です。
手順は、デフォルト設定の手順（クラシック表示を使用しない時の手順）で説明します。

☞ 取扱説明書 ：コンピューター本体に付属の取扱説明書を参照してください。

お願い

- 別売り品については、最新のカタログ、お買い上げの販売店またはご相談窓口で確認してください。
- Administratorまたはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。このような場合は、Administratorまたはコンピューターの管理者権限でログオンして操作してみてください。

本書で使用する省電力用語について

本書では“スタンバイ”、“休止状態”および“ディスプレイの電源を切る”という用語を使って省電力についての説明をしています。
セットアップユーティリティの「省電力管理」メニューでは、表のような別の用語を使って表示されます。

	スタンバイ	休止状態	ディスプレイの電源を切る
Windows 2000 / Windows XP での表示	スタンバイ	休止状態	モニタの電源を切る
セットアップユーティリティでの表示	スタンバイ	（表示されません）	エコモード

状態表示ランプ

	ハードディスク状態表示	ハードディスクへのアクセス中に緑色に点灯します。
	電源状態表示	無点灯 :電源オフまたは休止状態です。 緑色点灯 :電源オンまたは省電力のため画面が消えた状態です。 緑色点滅 :スタンバイ状態です。

次回、すぐに操作をはじめるために

スタンバイ・休止状態機能を使ってコンピューターの電源を切ると、次回電源を入れたときに、電源を切る前に使用していたアプリケーションソフトやファイルが画面に表示され、操作を続けることができます。

●スタンバイ機能と休止状態機能の違い

機能	状態の保存先	立ち上がり速度	電源コードの接続
スタンバイ機能	メモリー	速い	必要（スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保存していないデータは失われます。）
休止状態機能	ハードディスク	やや遅い	不要

電源スイッチを使ってスタンバイまたは休止状態機能を使うための設定

1 Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]を選ぶ

（[休止状態]タブの「休止状態をサポートする」にチェックマークが付いていることを確認してください。チェックマークを外していると、休止状態機能を使うことはできません。）

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]を選ぶ

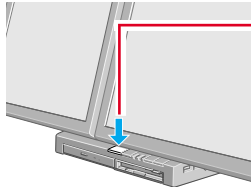
（[休止状態]タブの「休止状態を有効にする」にチェックマークが付いていることを確認してください。チェックマークを外していると、休止状態機能を使うことはできません。）

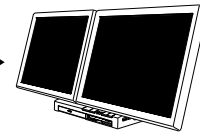
2 「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を「スタンバイ」または「休止状態」に設定し、[OK]を選ぶ

スタンバイ・休止状態機能

スタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わる

あらかじめ「スタンバイ」または「休止状態」を設定しておいてください。

(『電源スイッチを使ってスタンバイまたは休止状態機能を使うための設定』)

電源スイッチを押し､「ピッ」*
と音がしたら指を離す。

（スイッチから指を離した後、電源状態表示ランプが消えるまで、または点滅に変わるまではスイッチに触れないでください。）

設定に従って
スタンバイ状態
または
休止状態に入る

お願い

「ピッ」*と音がしたら、すぐに電源スイッチから指を離してください。押し続けるとビープ音*が鳴り、さらに押し続けると（「ピッ」と音がしてから約4秒間）、スタンバイ・休止状態機能が働かずに電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

Windows 2000

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[電源オフ]に設定していても､電源スイッチを押し続けると､強制的に電源が切れる場合があります（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

Windows XP

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」を[シャットダウン]に設定していても、電源スイッチを押し続けると、強制的に電源が切れる場合があります（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

*セットアップユーティリティで「スピーカー」を「無効」に設定しているなど、スピーカー機能を無効にしていると､「ピッ」という音およびビープ音は鳴りません。

お知らせ

以下の方法でもスタンバイ機能または休止状態機能を使ってコンピューターの電源を切ることができます。

<スタンバイ機能>

Windows 2000

[スタート]-[シャットダウン]を選び､[スタンバイ]を選ぶ。

Windows XP

[スタート]-[終了オプション]を選び､[スタンバイ]を選ぶ。

<休止状態機能>

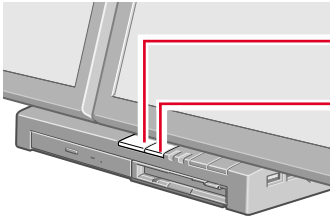
Windows 2000

[スタート]-[シャットダウン]を選び､[休止状態]を選ぶ。

Windows XP

[スタート]-[終了オプション]を選び､Shiftを押して[休止状態]を選ぶ。

スタンバイ・休止状態機能

操作を再開する

お知らせ

- スタンバイ・休止状態から次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを "リジュームする" といいます。
- リジューム後、マウス、モデム、PC カード、その他のシリアルデバイスが認識されないことがあります。この場合、本体を再起動するか、必要なデバイスを初期化してください。
- リジューム時には、セットアップユーティリティで設定したパスワードの入力は要求されません。セットアップユーティリティのパスワード入力の代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。

Windows 2000

1. [コントロールパネル] - [ユーザーとパスワード] でユーザーのパスワードを設定する。
2. [コントロールパネル] - [電源オプション] - [詳細] を選び、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付ける。

Windows XP

1. [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] で変更するアカウントを選ぶ。
2. [パスワードを作成する] でユーザーのパスワードを設定する。
3. [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定] を選び、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付ける。

Windows XP

- 複数のユーザーが設定されている場合は、リジューム時にユーザーを選んでください。

スタンバイ・休止状態機能についてのお願い

- 操作を終わる前に、データを保存してください。
- スタンバイ・休止状態処理中（リジューム時を含む）は、キーボードやマウス、電源スイッチに触れないでください。
- リジューム後、画面が復帰してもしばらくは初期化などが行われていますので、キーボードやマウス、電源スイッチに触れないでください。約15秒間待ってから操作を始めてください（LANが使用可能に設定されていてLANケーブルが接続されていない場合、さらに数10秒間初期化にかかることがあります）。この間にWindowsの終了や再起動、およびスタンバイ・休止状態機能を使うと正常に動作しなくなります。
- リジューム後、マウスが使えなくなる場合があります。この場合、キーボードで操作して再起動してください。
- 以下のとき、スタンバイ・休止状態機能を使ってコンピューターの電源を切らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、機能や周辺機器が正常に動作しない場合があります。
  - フロッピーディスクドライブ、CDドライブ、ハードディスクドライブ( )のランプ点灯中（ドライブアクセス中）
  - オーディオの録音・再生中やMPEGファイルの再生中
  - 通信ソフト、LAN動作中
- CDドライブや外付けのハードディスク、ATAカードなどの外部装置からファイルを開いているときは、ファイルを閉じた後、スタンバイ・休止状態機能を使ってください。
- SCSIカード、LANカード、モデムカードなどを使っている場合、スタンバイ・休止状態機能を使ってこれらのカードが正常に動かなくなったときは、コンピューターを再起動してください。
- (Alt)、(Ctrl)または(Shift)を押したままスタンバイ・休止状態に入ると、リジューム後、これらのキーが押された状態になります。これらのキーを1回押すと元の状態に戻ります。
- 何らかの問題が発生してコンピューターが操作不能状態(ロック)になった場合のみ、電源スイッチを4秒以上押し続け、電源を切ってください。この場合、保存されていないデータは失われます。
- ネットワーク機能（LANなど）を使う場合は、スタンバイ・休止状態機能を使わないでください。
  セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」を「無効」に設定してネットワーク機能を無効にすると、スタンバイ・休止状態機能を使うことができます。
- スタンバイ・休止状態機能を繰り返し使うと、動作に支障をきたすことがあります。定期的に（目安として1週間に1回程度）、スタンバイ・休止状態機能を使わず、Windowsを終了してください。
- スタンバイ・休止状態のとき、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。
- Windowsのタスクスケジューラーのような一部のアプリケーションソフトには、指定した時刻にコンピューターをスタンバイ・休止状態から自動的にリジュームさせる機能を持ったものがありますが、指定した時刻にスタンバイ・休止状態からリジュームしない場合があります。
- USB機器を接続していると、スタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合があります。この場合は、Windowsの動作が正常であればUSB機器を取り外してください。指定された時間が経過した後、スタンバイ・休止状態に入ります。
  それでもスタンバイ・休止状態機能が正常に動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。

Windows 2000

- 休止状態に入るには、ハードディスク上にメモリーの内容を保持するための空き領域を確保しておく必要があります。[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態]の「休止状態をサポートする」にチェックマークを付けていると、空き領域は確保されています。
  （チェックマークが付けられない場合：『困ったときのQ&A』）

Windows XP

- 休止状態に入るには、ハードディスク上にメモリーの内容を保持するための空き領域を確保しておく必要があります。[スタート] - [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態]の「休止状態を有効にする」にチェックマークを付けていると、空き領域は確保されています。
  （チェックマークが付けられない場合：『困ったときのQ&A』）

セキュリティ機能

データや機器の盗難、機密保護を目的としたいくつかのセキュリティ機能を使うことができます。
不測の事態に備えて、このセキュリティ機能を活用することをおすすめします。

こんなときは	この機能を使う	記載ページ
コンピューターを無断で使用されたくないとき	スーパーバイザーパスワード ユーザーパスワード	☞ 下記
ハードディスクを盗難された場合などでも、ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき	ハードディスク保護	☞『ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき』
フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき	フロッピーの操作禁止	☞『フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき』
CDからのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき	CD の操作禁止	☞『CD からのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき』
PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき	PC カードの操作禁止	☞『PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき』

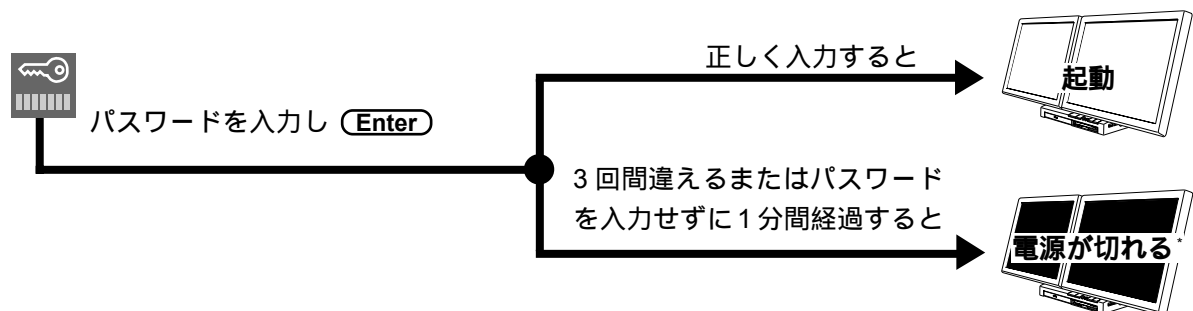
お願い

セキュリティ機能が絶対に安全と考えるのではなく、機密保護の一つとして活用してください。重要なデータについては、お客様ご自身が十分注意して管理してください。

コンピューターを無断で使用されたくないとき

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定します。(ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。)パスワードを知らないとコンピューターを起動することができないので、重要なデータの機密保護に有効です。

●パスワードを設定していると

(「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定している場合)

＊ コンピューターを起動させる前の状態に戻ります。

お知らせ

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「無効」に設定している場合でも、セットアップユーティリティ起動時にはパスワードの入力が必要になります。

セキュリティ機能

スーパーバイザーパスワードを設定（有効・変更・無効）する

1 セットアップユーティリティを起動する

2 [→] [←]で「セキュリティ」を選ぶ

3 [↑] [↓]で「スーパーバイザーパスワード設定」を選び、[Enter]を押す

4 <スーパーバイザーパスワードがすでに設定されているときのみ>
「現在のパスワードを入力してください」の[　　]にパスワードを入力し、[Enter]を押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[　　]に新しいパスワードを入力し、[Enter]を押す
- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで [Enter] を押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[　　]にパスワードを再度入力し、[Enter]を押す
- スーパーバイザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで[Enter]を押す

7 確認の画面で [Enter]を押す

8 [F10] を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- [Shift] や [Ctrl] などの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

セキュリティ機能

ユーザーパスワードを設定（有効・変更・無効）する

1 セットアップユーティリティを起動する

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は設定してください。
  （『スーパーバイザーパスワードを設定する』）
- ユーザーパスワードを設定した後にスーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも削除されます。

2 → ← で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓ で「ユーザーパスワード設定」を選び、Enter を押す

4 <ユーザーパスワードがすでに設定されているときのみ>
「現在のパスワードを入力してください」の[ ]にパスワードを入力し、Enter を押す

5 「新しいパスワードを入力してください」の[ ]に新しいパスワードを入力し、Enter を押す
<スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動した場合のみ>

- ユーザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで Enter を押す

6 「新しいパスワードを確認してください」の[ ]にパスワードを再度入力し、Enter を押す

- ユーザーパスワードを無効にするとき
  何も入力しないで Enter を押す

7 確認の画面で Enter を押す

8 F10 を押し、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 入力したパスワードは画面には表示されません。
- 入力可能な文字は、半角の英数字で、最大７文字です。大文字、小文字の区別はありません。
- Shift や Ctrl などの特殊キーと組み合わせて入力することはできません。
- テンキーによる入力はできません。数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- セットアップユーティリティの起動時にユーザーパスワードを入力した場合、ユーザーパスワードを無効にすることはできません。

ユーザーパスワードを無断で設定または変更されたくないとき
以下の手順で、ユーザーパスワード保護を設定してください。

1. ↑ ↓ で「ユーザーパスワード保護」を選び、Enter を押す。
2. ↑ ↓ で「保護する」を選び、Enter を押す。

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- パスワードを無断で設定（変更・無効）されないよう、セットアップユーティリティを起動しているときは、コンピューターから離れないでください。

ハードディスクに保存されているデータを読み書きされたくないとき

ハードディスク保護を有効にすると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けて読み書きしようとしてもできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前とまったく同じ設定にしておいてください。

起動時のパスワードを設定しなくてもハードディスク保護を設定することはできますが、セキュリティのためには、起動時のパスワードも設定しておくことをおすすめします。(ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。)

工場出荷時の設定では、「ハードディスク保護」は「無効」に設定されています。

お知らせ

スーパーバイザーパスワードが設定されていない場合、「ハードディスク保護」は設定できません。
(『スーパーバイザーパスワードを設定する』)
スーパーバイザーパスワードは忘れないようにしてください。「ハードディスク保護」を「有効」に設定した後、スーパーバイザーパスワードを忘れてしまうとハードディスクへのアクセスができなくなります。

ハードディスク保護を設定する（有効または無効にする）

1 セットアップユーティリティを起動する

2 → ← で「セキュリティ」を選ぶ

3 ↑ ↓ で「ハードディスク保護」を選び、Enter を押す

お知らせ

「ハードディスク保護」が表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

4 ●有効にするとき

「有効」を選んで Enter を押す

「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら Enter を押してください。

●無効にするとき

「無効」を選んで Enter を押す

5 F10 を押し、「はい」を選ぶ

お願い

ハードディスクの交換を依頼する場合、交換前に「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを必ず確認してください。

セキュリティ機能

フロッピーディスクによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき

フロッピーディスクの操作を禁止します。フロッピーディスクの操作を禁止すると、フロッピーディスクにアクセスしようとしても、読み書きが一切できません。
フロッピーディスクを使って、無断で重要なデータを持ち出されたり、無用なデータが書き込まれたりするのを防ぎたいときに有効です。

フロッピーディスクの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1. セットアップユーティリティを起動する
2. → ←で「セキュリティ」を選ぶ
3. ↑ ↓で「フロッピー操作」を選び、Enterを押す
4. ↑ ↓で「無効」を選び、Enterを押す
   - 禁止を解除するとき
     ↑ ↓で「有効」を選び、Enterを押す
5. F10 を押し、「はい」を選ぶ

CD からのアプリケーションソフトのインストールや自動実行を防ぎたいとき

CD ドライブの操作を禁止します。CD ドライブの操作を禁止すると、CD ドライブにアクセスしようとしても、アクセスが一切できません。
CDから不要なアプリケーションソフトをインストールされたり、自動実行されたりするのを防ぎたいときに有効です。

CD ドライブの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1. セットアップユーティリティを起動する
2. → ←で「セキュリティ」を選ぶ
3. ↑ ↓で「CD 操作」を選び、Enterを押す
4. ↑ ↓で「無効」を選び、Enterを押す
   - 禁止を解除するとき
     ↑ ↓で「有効」を選び、Enterを押す
5. F10 を押し、「はい」を選ぶ

PC カードによるデータの盗難や破壊を防ぎたいとき

PC カードの操作を禁止します。PC カードの操作を禁止すると、PC カードにアクセスしようとしても、アクセスが一切できません。
PCカードを使って、無断で重要なデータを持ち出されたり、無用なデータが書き込まれたりするのを防ぎたいときに有効です。

PC カードの操作を設定（禁止・禁止を解除）する

1. セットアップユーティリティを起動する
2. → ← で「詳細」を選ぶ
3. ↑ ↓ で「カードバスコントローラー」を選び、Enter を押す
4. ↑ ↓ で「無効」を選び、Enter を押す
   - 禁止を解除するとき
     ↑ ↓ で「有効」を選び、Enter を押す
5. F10 を押し、「はい」を選ぶ

省電力機能

省電力の方法

省電力のコツ！

●使わないときは電源を切る

● Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]で設定を行う

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]で設定を行う

タイムアウトなどを詳細に設定し、電力の消費を抑えることができます。

お知らせ

- Windows起動後は、セットアップユーティリティの「省電力モード」、「電源スイッチ」は動作しません。上記の設定に従って省電力が働きます。
- 「システムスタンバイ」の時間よりも「システム休止状態」の時間を短く設定することはできません。

Windows XP

- ユーザーの簡易切り替えを行うと、省電力機能が正常に動作しなくなる場合があります。省電力機能が正常に動作しなくなった場合は、再起動してください。

お願い

ネットワーク環境をお使いの場合
　スタンバイ・休止状態機能は使用しないでください。リジューム後、ネットワーク接続ができないなど、コンピューターが正常に動作しない場合があります。

シリアルポートなどに高速モデムや ISDN のターミナルアダプターなどを接続して通信を行う場合
　省電力の設定を有効にして高速通信を行うと通信が正常に行われない場合があります。

各タイムアウトの時間誤差
　設定したタイムアウトの時間は、1 分程度の誤差を生じることがあります。

ダブルディスプレイを使う

ダブルディスプレイモデルでは、左右どちらかのディスプレイをプライマリ（主画面）として扱います。
以降、本書ではプライマリに設定しているディスプレイを“ プライマリディスプレイ ”と呼び、もう一方を“ セカンダリディスプレイ ”と呼びます。

お願い

- ダブルディスプレイに対応していないアプリケーションソフトの場合、セカンダリディスプレイに表示したり、２画面にわたって表示したりすると、ウィンドウの大きさを自由に変更できない、エラーが発生する、表示が乱れるなどの現象が起こることがあります。
  特に動画再生の場合は、動画がなめらかに再生されなかったり、画面が正しく表示されないことがあります。
  このようなアプリケーションソフトはプライマリディスプレイ上でお使いください。
- セカンダリディスプレイに Windows 画面が表示されない場合は、下記の操作を行ってください。
  Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[設定]で、[2]を右ボタンでクリックして「接続」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
  Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定] で、[2]を右ボタンでクリックして「接続」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
- プライマリとセカンダリを入れ替えたり、接続の有効／無効を切り換えたりした場合は、必ず Windows を再起動してください。

Windows XP

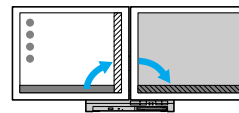
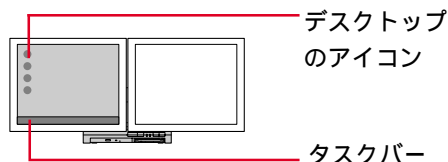
- 動画はプライマリディスプレイで表示してください。また、ユーザーの簡易切り替えを行う前に動画の再生用アプリケーションソフトを終了してください。
- ユーザーの簡易切り替えを行うと、アイコンの再配置ができなくなるなど、画面が正しく表示されなくなる場合があります。画面が正しく表示されない場合は、再起動してください。

お知らせ

- シングルディスプレイモデルに比べて、Windows が起動するまでの時間が長くなるなど、動作が遅くなることがあります。
- 工場出荷時の状態では、アイコンおよびタスクバーは左側のディスプレイに表示されます。ドラッグ＆ドロップでどちらのディスプレイにも移動できます。

  タスクバーの移動方法：

  Windows 2000
  ドラッグ＆ドロップで、いったんディスプレイの端に縦に配置し、そのままもう一方のディスプレイに移動する。

  Windows XP
  タスクバー上で右クリックをして[タスクバーを固定する]のチェックマークを外してから、ドラッグ＆ドロップでいったんディスプレイの端に縦に配置し、そのままもう一方のディスプレイに移動する。

- ダブルディスプレイで使用する場合、下記の設定で使用することをおすすめします。下記以外の設定で使用すると、アイコンが 2 画面にわたって表示されるなど、正しく表示されなくなる場合があります。
  ・デスクトップ上で右クリックして［アイコンの整列］を選び、［アイコンの自動整列］にチェックマークを付ける。
  ・「画面のプロパティ」で、左右のディスプレイの表示色を同じに設定する。
  ・「画面のプロパティ」で、左右のディスプレイの解像度を LCD の解像度* にあわせる。
  * XGA ディスプレイ：1024 × 768 ドット、SXGA ディスプレイ：1280 × 1024 ドット
- 電源を入れてからWindowsが起動するまでの画面(パスワード入力やセットアップユーティリティなど)は、左側のディスプレイに表示されます。右側に表示することはできません。

プライマリディスプレイの設定

工場出荷時の設定では、左側がプライマリ（主画面）に設定されています。
プライマリの設定は、以下の手順で変更することができます。

1 Windows 2000
[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[設定]を選ぶ
Windows XP
[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]を選ぶ

2 プライマリに設定するディスプレイを選び、「このデバイスをプライマリモニタとして使用する」にチェックマークを付ける

3 [OK]を選ぶ

お知らせ

- 初めて起動したアプリケーションソフトのウィンドウは、プライマリディスプレイに表示されます。次回起動時からは、閉じたときに表示していたディスプレイに表示されます。アプリケーションソフトによっては、常にプライマリディスプレイに表示される場合があります。
- スクリーンセーバーの種類によってはプライマリディスプレイにスクリーンセーバーが表示されても、もう一方のディスプレイには表示されない場合があります。この場合、スクリーンセーバーのパスワードを設定していても、スクリーンセーバーが表示されていないディスプレイを使ってコンピューターを操作することができます。パスワードを設定する場合は、ダブルディスプレイに対応しているスクリーンセーバーを選んでください。
- 「画面のプロパティ」でセカンダリディスプレイを無効にする場合、セカンダリディスプレイにウィンドウが表示されていないことを確認してください。ウィンドウが表示されている場合は、プライマリディスプレイに移動した後、無効にしてください。ウィンドウをプライマリディスプレイに移動しないでセカンダリディスプレイを無効にすると、セカンダリディスプレイに表示されたウインドウが画面に表示されなくなります。
- ミラー表示機能、逆ミラー表示機能は、搭載されていない機種があります(「ディスプレイアシストの設定」画面で「ミラー表示」を選べません)。また、ミラー表示機能、逆ミラー表示機能が搭載されている機種でも、右側のディスプレイをプライマリディスプレイにすると、ミラー表示機能、逆ミラー表示機能は動作しません。
- コマンドプロンプトを最大化表示した場合、プライマリディスプレイが右側に設定されている場合でも、左側のディスプレイに表示されます。

ディスプレイの配置をあわせる

Windows 2000

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[設定]でモニター番号の配置をあわせる

Windows XP

[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]でモニター番号の配置をあわせる

ディスプレイにはそれぞれモニター番号が付けられています。モニター番号をドラッグ＆ドロップして、モニター番号の配置を実際のディスプレイの配置とあわせてください。カーソル操作がしやすくなります。

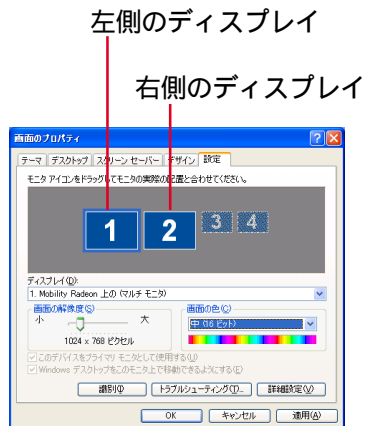
左側のディスプレイ

右側のディスプレイ

<Windows 2000 の画面>

左側のディスプレイ

右側のディスプレイ

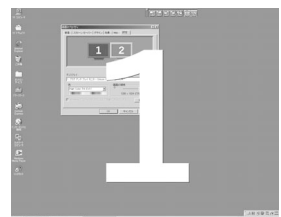
<Windows XP の画面>

お願い

- モニター番号１および２のディスプレイは、上記の画面のように左右に並べて配置してください。
- ディスプレイアシストの各機能は、上記で設定したディスプレイの配置に従って働きます。ディスプレイアシストの機能が意図したように働かない場合は、ディスプレイの配置を確認してください。

Windows XP

外部ディスプレイを接続して、外部ディスプレイにデスクトップを割り当てている（外部ディスプレイのモニター番号を「使用可能」に設定している）場合は、上記で設定した配置と実際のディスプレイの配置が一致しているか確認してください。

●モニター番号を確認するには

「画面のプロパティ」のモニター番号の上で右クリックし、[識別] を選ぶと、その番号に対応したディスプレイにモニター番号が表示されます。

ダブルディスプレイ

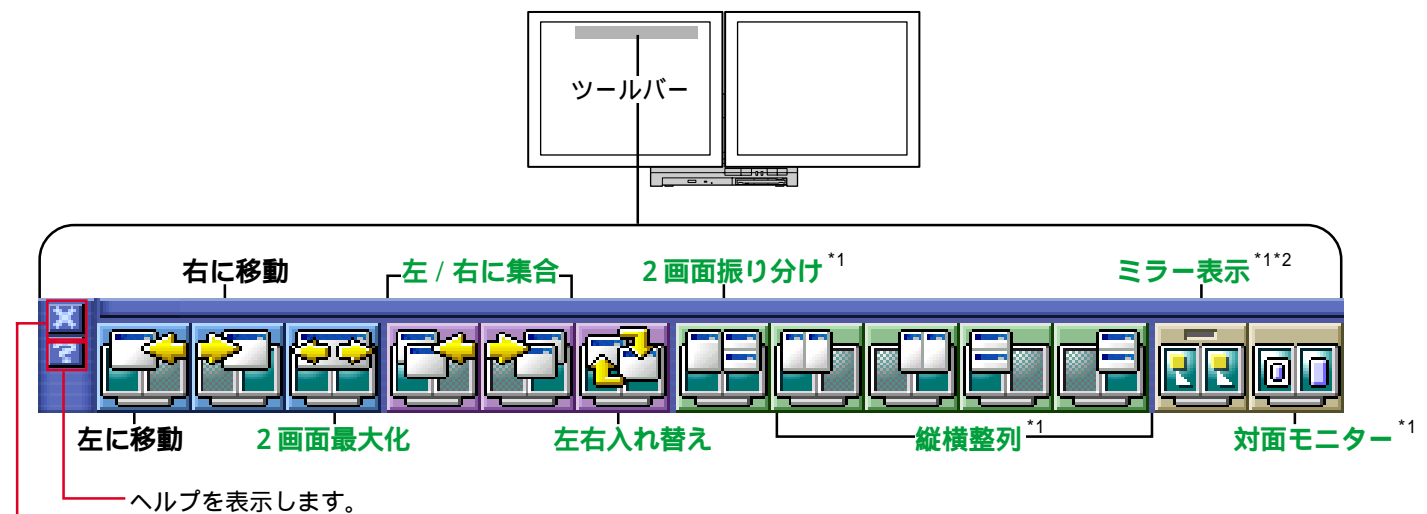
ダブルディスプレイのウィンドウを操作する（ディスプレイアシスト機能）

ツールバーを使うと、2画面に表示しているウィンドウをすばやく移動させたり、表示状態を変えたりすることができます。ツールバー以外にホットキーを使って操作することもできます。

（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）

お知らせ

アプリケーションソフトによっては、ディスプレイアシストの一部の機能が働かない場合があります。
また、ディスプレイアシスト機能を使って対面モニターおよびディスプレイアシストの環境設定画面を移動させたりすることはできません。

ヘルプを表示します。

ツールバーを閉じます。
再度表示するには、タスクトレイの をダブルクリックしてください。

*1 工場出荷状態では表示されません。

*2 ミラー表示機能は、搭載されていない機種があります（「ディスプレイアシストの設定」画面で「ミラー表示」を選べません）。

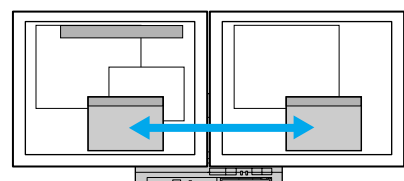
お知らせ

- ウィンドウの最大化などにより、ツールバーが前面に表示されていないときはホットキーで手前に表示することができます（工場出荷時のキーの割り当て：Ctrl + ⊞ + Enter ）。また、常に手前に表示するよう設定することもできます。（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）
- ツールバーにどのボタンを表示するか選択できます。工場出荷時は、並列セッティング用のボタンが表示されています。（『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）
- 左に移動、右に移動、2画面最大化は、常に手前に表示するように設定されているウィンドウがある場合、そのウィンドウが優先されます。

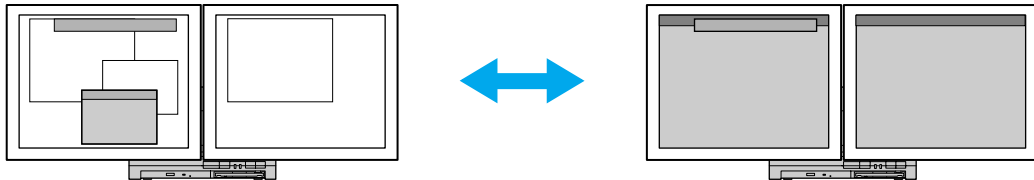
左に移動

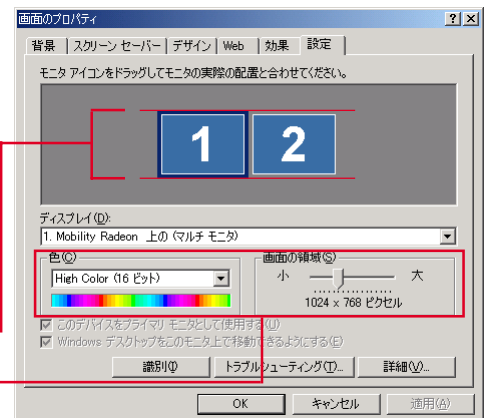
一番手前のウィンドウを左に移動する

右に移動

一番手前のウィンドウを右に移動する

２画面最大化

２画面にわたって最大化する・最大化をやめる

（並列セッティングを選択時のみ『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）

●一番手前のウィンドウを２画面にわたって最大化します。一番手前のウィンドウを最大化できない場合は、次のウィンドウを最大化します。

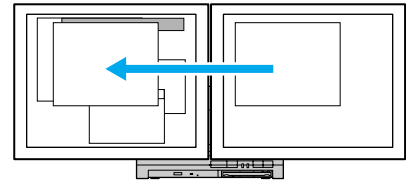
●[コントロールパネル]の[画面]-[設定]で、両方のディスプレイの水平位置を同じに設定し、色と画面の領域も同じに設定してください。ディスプレイの位置がずれていると動作しません。
（工場出荷時は、ディスプレイの色、領域、水平位置は同じに設定されています。）

●Excel 2000 および PowerPoint 2000 の場合、２画面にわたって最大化されたアプリケーションウィンドウの中で、最大化されていない文書ウィンドウが次のように表示されます。
・文書ウィンドウが１つのとき：　文書ウィンドウも２画面にわたって最大化。
・文書ウィンドウが２つのとき：　１つのディスプレイに１つの文書ウィンドウを最大化して表示。
・文書ウィンドウが３つ以上のとき：２画面にわたって縦に並べて表示

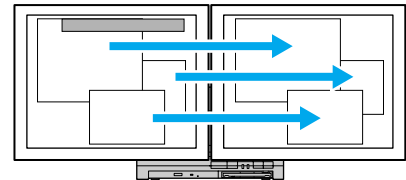
●２画面最大化をやめる場合、再度 を選んでください。(ウィンドウのサイズは、最大化する前のサイズとは異なります。)

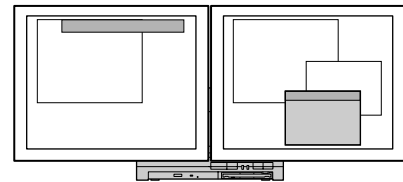
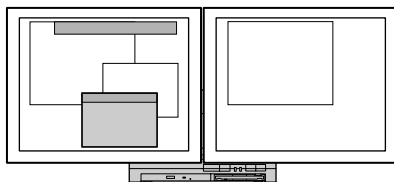
●２画面にわたって最大化しているウィンドウの (最大化ボタン) を選んだ場合：
プライマリディスプレイで最大化表示されます。この場合、ウィンドウの(元のサイズに戻すボタン)を選ぶと、２画面最大化の大きさに戻ります。２画面最大化をやめる場合は、 を選んでください。
最大化表示したことにより、ツールバーが手前に表示されていない場合は、キーボードで手前に表示できます。（工場出荷時の割り当て：Ctrl + ⊞ + Enter ）

●ウィンドウサイズが固定の場合（プロパティなど）や (最大化ボタン) を選んでも画面いっぱいに最大化されないウィンドウの場合は、 を選んでも２画面最大化になりません。

左に集合

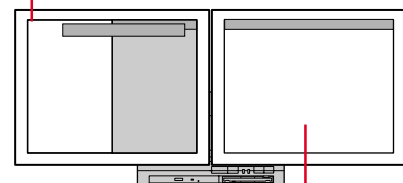
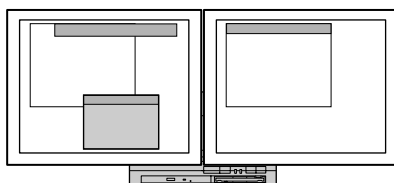
開いているすべてのウィンドウを左に集める

右に集合

開いているすべてのウィンドウを右に集める

左右入れ替え

左右のウィンドウを入れ替える

２画面振り分け

サイズ変更可能なウィンドウを２画面に振り分ける

振り分けた結果、ウィンドウが複数*になる場合は縦に並べて表示

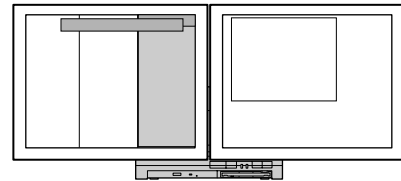
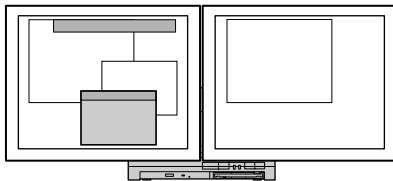
振り分けた結果、ウィンドウが１つになる場合は最大化表示

●振り分けたウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウをドラッグ＆ドロップして、サイズを変更したり、移動させたりする必要があります。

＊ 縦に並べることができるウィンドウは、1画面に対して8個までです。振り分けた結果、ウィンドウが9個以上になる場合は、9個目以降のウィンドウを並べて表示することはできません。

左縦整列

左のディスプレイに表示されているウィンドウを縦に並べて表示

右縦整列

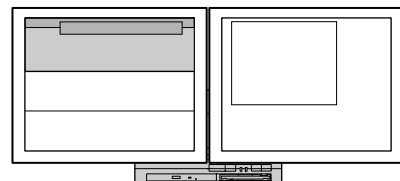
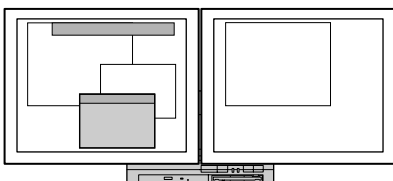
右のディスプレイに表示されているウィンドウを縦に並べて表示

●ウィンドウが１つの場合は最大化されます。
整列したウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウの枠をドラッグ&ドロップしてサイズを変更してください。

●整列できるウィンドウは、1画面に対して8個までです。ウィンドウを9個以上開いている場合、整列されません。

左横整列

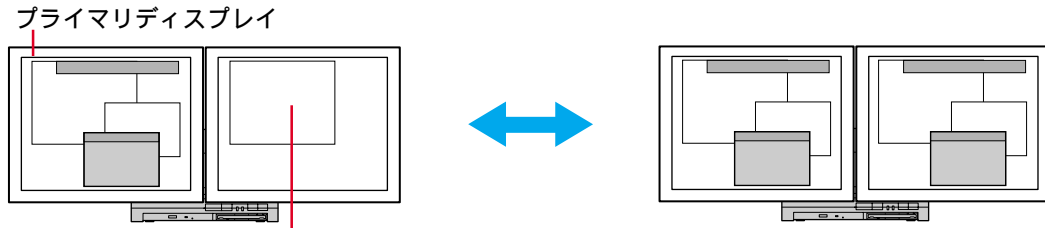
左のディスプレイに表示されているウィンドウを横に並べて表示

右横整列

右のディスプレイに表示されているウィンドウを横に並べて表示

●ウィンドウが１つの場合は最大化されます。
整列したウィンドウを元の状態に戻すには、各ウィンドウの枠をドラッグ&ドロップしてサイズを変更してください。

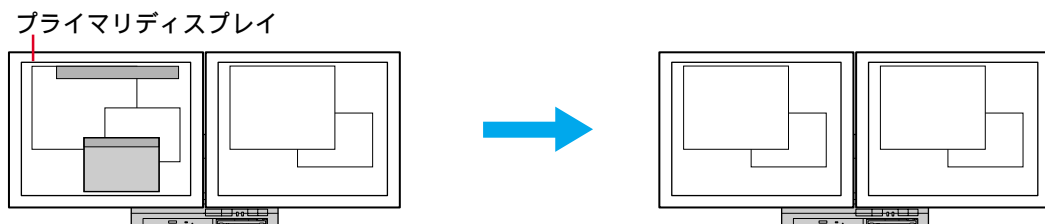
●整列できるウィンドウは、1画面に対して8個までです。ウィンドウを9個以上開いている場合、整列されません。

ミラー表示

プライマリディスプレイの表示内容をセカンダリディスプレイに映す・解除する

右側のディスプレイに表示しているウィンドウは、ミラー表示後、タスクバーに格納されます。
格納できないウィンドウ（ が表示されていないウィンドウなど）は、プライマリディスプレイに移動して、ミラー表示されます。解除した際、ミラー表示したときにタスクバーに格納されたウィンドウおよびプライマリディスプレイに移動したウィンドウの一部が元の状態に戻らない場合があります。

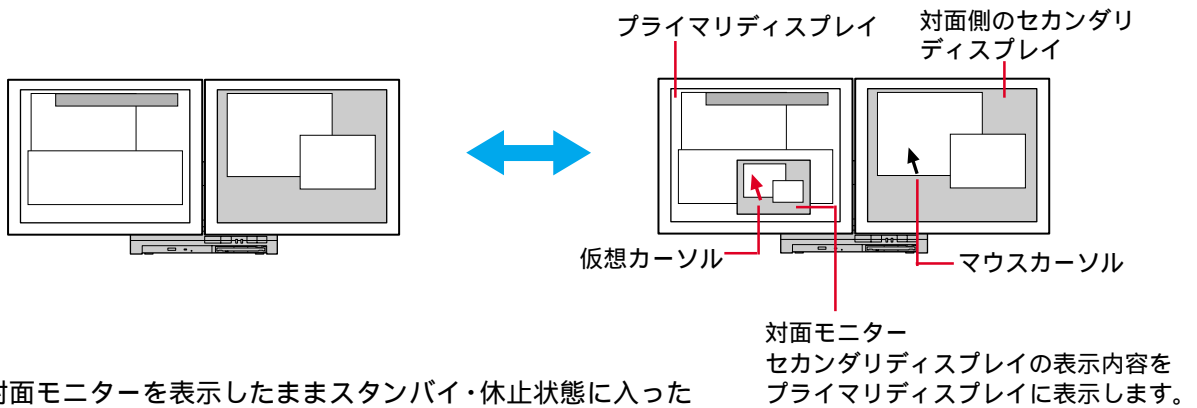
- ミラー表示機能は、搭載されていない機種があります(「ディスプレイアシストの設定」の「ホットキー」画面で「ミラー表示」を選べません)。
- 左側をプライマリディスプレイに設定してください。
  (『プライマリディスプレイの設定』)
  右側をプライマリディスプレイに設定していると、ミラー表示できません。
- 工場出荷時の設定では、「対面セッティング」を選んだ場合のみ が表示されます。「並列セッティング」を選んだ場合も を表示するにはディスプレイアシストの「環境設定」で変更します。
- ミラー表示の状態でWindowsを終了すると、次回起動時もミラー表示になります。解除するには、再度 を選んでください。
- ディスプレイを縦長にしている場合、ミラー表示は動作しません。

逆ミラー表示（Shift を押しながら をクリック）

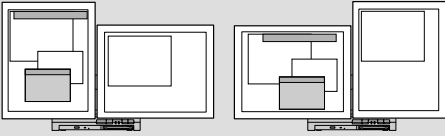
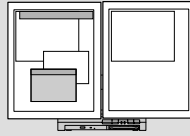
プライマリディスプレイにセカンダリディスプレイの表示内容を映す

何かキーを押すか、マウスをクリックすると、元の表示に戻ります。

- 逆ミラー表示機能は、搭載されていない機種があります(「ディスプレイアシストの設定」の「ホットキー」画面で「逆ミラー表示」を選べません)。
- 左側をプライマリディスプレイに設定してください。
  (『プライマリディスプレイの設定』)
  右側をプライマリディスプレイに設定していると、逆ミラー表示できません。
- スタンバイ、休止状態に入るとき、自動的に元の状態に戻ります。
- ミラー表示をしているときに、逆ミラー表示をすることはできません。
- ディスプレイを縦長にしている場合、逆ミラー表示は動作しません。

対面モニター

対面側のセカンダリディスプレイの表示内容をプライマリディスプレイに表示する・解除する（対面セッティングに設定時のみ 『ダブルディスプレイの動作環境を設定する』）

- 対面モニターを表示したままスタンバイ・休止状態に入った場合、リジューム後は対面モニターが表示されません。
- 対面モニターを表示した状態でディスプレイを回転させると、対面モニターは終了します。

お知らせ

対面側のセカンダリディスプレイにマウスカーソルが移動すると、対面モニター内に仮想カーソルが表示されます。仮想カーソルを見ながら対面側のウィンドウを操作することができます。
仮想カーソルを使って対面側のウィンドウを操作する場合は、「画面のプロパティ」の[効果]で「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」にチェックマークを付けてください。

ディスプレイの回転 ＜XGA ディスプレイ搭載モデルのみ＞

ダブルディスプレイモデルでは、ディスプレイを 90 ° 回転させることができます。
ディスプレイを回転させると、自動的に画面表示の向きも回転します。

お知らせ

●「画面のプロパティ」で表示色を 256 色にしている場合、ディスプレイを回転させても画面表示は回転しません。ディスプレイを回転させる場合は、表示色を 256 色以外に設定してください。
●外部ディスプレイを接続してコンピューター本体のディスプレイと同じ画面を表示させている場合は、ディスプレイを回転させても画面表示は回転しません。
●ディスプレイを縦長にして使用する場合、ディスプレイアシスト機能の一部に次のような制限が付きます。

	どちらか一方を縦長に	両方を縦長に
左に移動・右に移動 左に集合・右に集合 左右入れ替え	△ (動作しますが、ウィンドウのサイズが変わることがあります)	△ (動作しますが、ウィンドウのサイズが変わることがあります)
2画面最大化	× (動作しません)	○ (正常に動作します)
ミラー表示	× (動作しません)	× (動作しません)

●電源オフ時にディスプレイを回転させると、Windows の画面が表示されるまで(ログインするまで)、画面は正しい向きで表示されません。Windows の画面が表示されると、画面表示は正しい向きに回転します。
●解像度が 800 ドット x 600 ドットまたは 640 ドット x 480 ドットの場合にディスプレイを縦長に回転させると、Windows の仕様により、「画面のプロパティ」の「画面の領域」*に表示される解像度が「640 x 480」になる場合があります。「画面の領域」*を変更せず、そのまま使用してください。
* Windows XP ：「画面の解像度」
●終了時にウィンドウの表示位置を記憶しているアプリケーションソフトでは、ディスプレイを回転後に起動した際、ウィンドウが隠れて表示されない場合があります。このような場合は、ディスプレイを元の状態に回転させてからウィンドウの表示位置を変更し、再度ディスプレイを回転させてください。
●ウィンドウが開いている状態でディスプレイを回転させると、ウィンドウのサイズや表示位置が変わってしまう場合があります。ディスプレイを回転させる前に、ウィンドウを閉じてください。ウィンドウが最大化表示されている状態でディスプレイを回転させて表示位置がずれてしまった場合は、ディスプレイアシストの「左に移動」「右に移動」機能を使って表示位置を調整してください。
●ディスプレイを縦長にした状態では、スクリーンセーバーが正しく表示されない場合があります。スクリーンセーバーは使用しないでください。

Windows XP

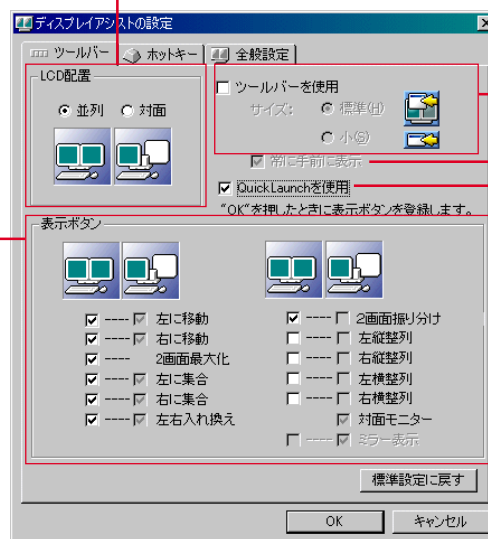
●ディスプレイを回転させると、ごみ箱などのアイコンや、IME の言語バーの位置が変わる場合があります。必要に応じて位置を調整してください。
●外部ディスプレイにデスクトップを割り当てている（モニター番号 3 または 4 を「使用可能」に設定している）場合は、外部ディスプレイの配置が変わることがあります。必要に応じてディスプレイの配置を調整してください。

ダブルディスプレイの動作環境を設定する

1 タスクトレイのを右ボタンで選び、「環境設定」を選ぶ

●ツールバーの設定

並列と対面それぞれのLCD配置で、ツールバーに表示するボタンをそれぞれ選択します。
「LCD配置」の「並列」または「対面」を選んでから、必要な項目にチェックマークを付けてください。
ツールバーを表示した状態でボタンの選択を変更すると、変更と同時にツールバーに変更内容が反映されます。元の状態に戻すには、[キャンセル]を選んでください。

ダブルディスプレイをどのようなセッティングで使うかを設定します。
セッティングごとに、ツールバーに表示するボタンを選択することができます。このため、「並列セッティング」と「対面セッティング」を切り換えるだけでツールバーのボタンも切り換えられます。

次回起動した時にツールバーを表示するかどうかを設定します。
表示する場合は、ツールバーのサイズを選びます。

「ツールバーを使用」を選択時にチェックマークを付けていると、ツールバーが常に手前に表示されます。

タスクバーにディスプレイアシストのボタンを表示するかどうかを設定します。
「ツールバーを使用」にチェックマークをが付いている時は、選べません。

お知らせ

- 「ツールバーを使用」にも「Quick Launch を使用」にもチェックマークを付けていないと、次回起動した時にツールバーが表示されません。ホットキーでウィンドウを操作することはできます。
  ツールバーを表示するには、タスクトレイのをダブルクリックしてください。
- 「Quick Launch を使用」にチェックマークを付けた場合、タスクバーに十分なスペースがないと登録したボタンが表示されません。下記の操作を行ってください。
  Windows 2000 : » の右の 部をドラッグしてボタンを表示させる。
  Windows XP　: » を選択すると表示されるメニューから、ボタンを選ぶ。
- 「Quick Launch を使用」にチェックマークを付けてタスクバーにディスプレイアシストのボタンを表示していても、ディスプレイアシストを終了すると、タスクバーにあるディスプレイアシストのボタンをクリックしても機能しません。

Windows XP

- 工場出荷時の設定では、Quick Launch は表示されません。Quick Launch を表示させるためには、[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[タスクバーと［スタート］メニュー]を選び、「クイック起動を表示する」にチェックマークを付けて［OK］を選んでください。

ダブルディスプレイ

●ホットキーの設定

ホットキーに使用できるキー

補助キー（いずれか1つ）
- Alt
- Alt + Ctrl
- Alt + (Windows)
- Ctrl + (Windows)

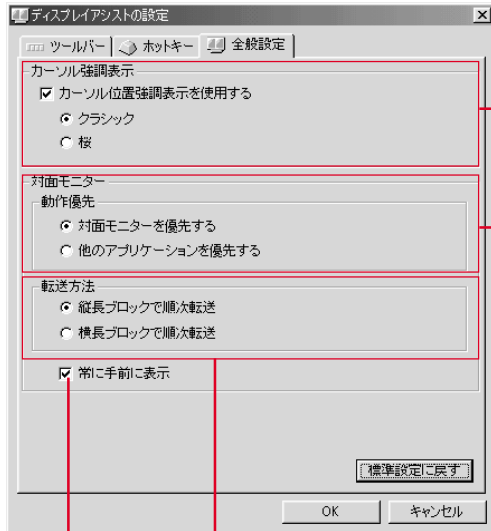
＋

キー（いずれか1つ）
- F1 から F12
- 英数
- アルファベット
- 方向キー
- Enter
- Space

お知らせ

- ホットキーは､他のアプリケーションソフトのショートカットキーおよびホットキーと競合しないように設定してください｡競合していると､ディスプレイアシスト側のホットキーが優先されることがあります。
- テンキーは、ホットキーとして使えません。

項目	操作内容	工場出荷時のキー設定
左に移動	一番手前のウィンドウを左に移動	Ctrl + (Windows) + ←
右に移動	一番手前のウィンドウを右に移動	Ctrl + (Windows) + →
２画面最大化	２画面にわたって最大化	Ctrl + (Windows) + D
左に集合	ウィンドウを左に集める	Ctrl + (Windows) + 1
右に集合	ウィンドウを右に集める	Ctrl + (Windows) + 2
左右入れ替え	左右のウィンドウを入れ替える	Ctrl + (Windows) + C
２画面振り分け	２画面にウィンドウを振り分ける	Ctrl + (Windows) + E
左縦整列	左のディスプレイのウィンドウを縦に並べて表示	Ctrl + (Windows) + V
右縦整列	右のディスプレイのウィンドウを縦に並べて表示	Ctrl + (Windows) + W
左横整列	左のディスプレイのウィンドウを横に並べて表示	Ctrl + (Windows) + H
右横整列	右のディスプレイのウィンドウを横に並べて表示	Ctrl + (Windows) + I
ミラー表示	プライマリディスプレイの表示内容をもう一方のディスプレイに映す	Ctrl + (Windows) + M
逆ミラー表示	プライマリディスプレイにもう一方のディスプレイの表示内容を映す	Ctrl + (Windows) + O（英字のオー）
対面モニター	対面側ディスプレイの表示内容をプライマリディスプレイに表示	Ctrl + (Windows) + S
ツールバーを手前に出す	ツールバーを手前に出す	Ctrl + (Windows) + Enter
マウスカーソルジャンプ	カーソルをもう一方のディスプレイにジャンプ	Ctrl + (Windows) + Space

●カーソル位置強調と対面モニターの動作を設定

チェックマークを付けていると、スクリーンセーバーからの復帰時やカーソルジャンプ時に、カーソルのまわりに強調表示を出します。また、強調表示の色合いを「クラシック」と「桜」から選ぶことができます。

対面モニターを使うとき、対面モニターと他のアプリケーションソフトのどちらをスムーズに表示して操作するかを選ぶことができます。

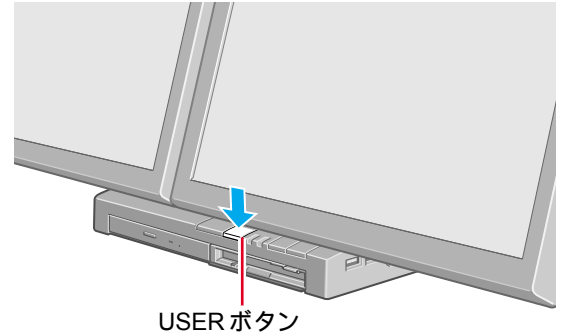
- 「対面モニターを優先する」を選んだ場合
  - 対面モニターの表示 ：通常よりもなめらかに表示
  - Windows の操作 ：遅くなる（動画などはなめらかに再生されません。）
- 「他のアプリケーションを優先する」を選んだ場合
  - 対面モニターの表示 ：遅くなる
  - Windows の操作 ：通常のスピードで操作

対面側ディスプレイの表示内容を対面モニターに表示するとき、縦長ブロックで転送するか、横長ブロックで転送するかを選ぶことができます。

チェックマークを付けていると、対面モニターが常に手前に表示されます。

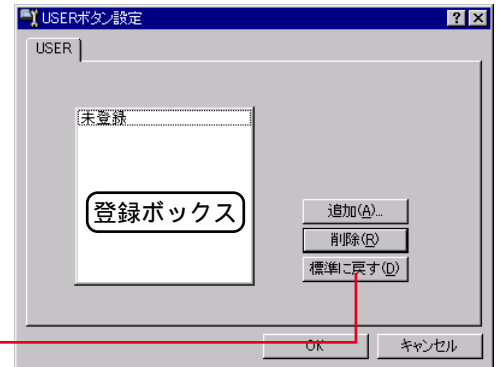
2 [OK]を選ぶ

USER ボタン

Windows が起動した状態で USER ボタンを押すと、登録されているアプリケーションソフトが起動します。
電源がオフのときやスタンバイ・休止状態でUSER ボタンを押すと、Windows 起動後またはリジューム後に登録されているアプリケーションソフトが起動します。パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
USER ボタンには複数のアプリケーションソフトが登録できます。
（工場出荷時、USER ボタンにアプリケーションソフトは登録されていません）

アプリケーションソフトを登録する / 削除する

1 タスクトレイの を選び、[USERボタンの設定]を選ぶ

2 ●アプリケーションソフトを登録する

[追加]を選び、アプリケーションソフトを選ぶ。
または、エクスプローラなどから登録ボックスにファイルをドラッグ & ドロップする。

お知らせ

- 以下の拡張子が付いているファイルが登録できます。
  ただし、ファイルによっては登録できないものもあります。
  - ・EXE（実行ファイル）
  - ・LNK（各種ファイルへのショートカット）

●アプリケーションソフトを削除する

登録ボックス内のアプリケーションソフトを選び、[削除]を選ぶ。

3 [OK]を選ぶ

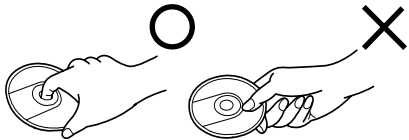
CD ドライブ

使用上のお願い

- トレイに CD 以外のものを載せないでください。
- トレイを開けたままで放置したり、レンズの部分に手を触れたりしないでください。
- トレイが開いているときに、トレイに無理な力をかけないでください。故障の原因になります。
- トレイを閉じた後、CDドライブのアクセスランプが消えるまで、CDドライブにアクセスしないでください。
- CDドライブアクセス中は、CDドライブを開けたり、コンピューターを動かしたりしないでください。故障の原因になります。
  また、CD にアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでCDドライブを開けたり、CD を取り出さないでください。
- 動画を再生するような CD（ビデオ CD や MPEG データを再生する CD など）は、なめらかに再生できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- フォト CD を再生すると極まれに映像が乱れる場合があります。この場合、最初から再生すると正しく表示されるようになります。
- CD ドライブのクリーニングには CD レンズクリーナー(クリーニング液を使用するものを除く)を使用してください。
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。レンズの寿命が短くなることがあります。
- CDドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物が入らないようにしてください。
- 変形した CD（曲がったり、円形でないもの）は使用しないでください。

CD の取り扱い

- 汚したり、傷つけたりしないでください。
- ゴミやほこりの多い場所、温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 表面に字を書いたり、紙を貼ったりしないでください。
- 落としたり、曲げたり、重い物をのせないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じます。
  急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露がついたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- CD の汚れや損傷の原因になりますので、再生面（タイトルのない面）に触れないでください。
- 2 ～ 3 か月に 1 回程度、CD のクリーニングをしてください。クリーニングには、CD ディスククリーナーを使用してください。

持ち方

汚れをとるには

柔らかい乾いた布で、中心から外の方向へ軽くふきます。

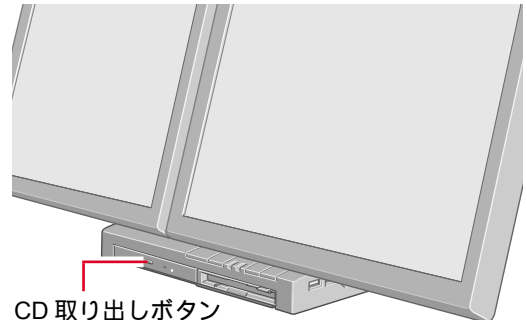
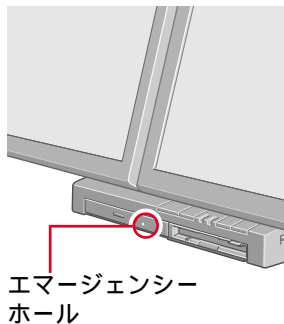
○　×

セットのしかた

1 **電源が入っている状態でCD取り出しボタンを押し、トレイを引き出す**

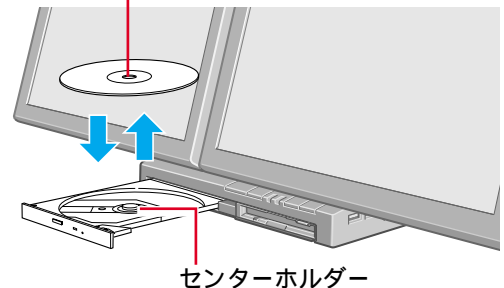
トレイが少し出ますので、手でゆっくり引き出してください。

お知らせ

CD が取り出せなくなったときや、電源を入れないで CD を取り出したいときは、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。

2 ● **CD をセットするとき**

タイトル面を上にしてトレイにセットし、CDの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。

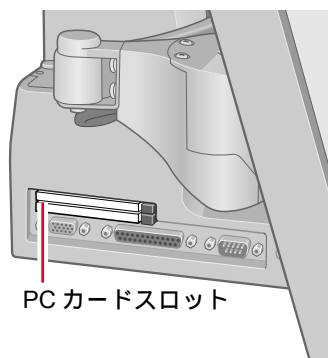
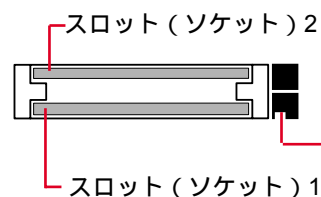
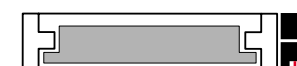
● **CD を取り出すとき**

センターホルダーに指を添え、CD の端を少し浮かせて取り出します。

3 **トレイを閉じる**

自動実行ディスクの場合

- スタンバイ・休止状態からのリジューム後、自動実行のディスクを挿入しても実行されない場合は、15 秒以上時間をあけてディスクを入れ直してください。正しく実行されます。
- ディスクの状態によっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。

PC カード

本機には PC カード用スロットが 2 つあります。
PC Card Standard**規格に準拠した**PC**カードを使うことにより通信機能を活用したり**SCSI**機器などの周辺機器を接続することができます。カードは厚みによってタイプ**Ⅰ（3.3 mm）、**タイプ**Ⅱ（5.0 mm）、**タイプ**Ⅲ（10.5 mm）**の３つのタイプがあります。**

お願い

- **PC カードの定格を確認して動作電流の合計がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。**
  (2 スロット合計の許容電流→ 3.3 V **または** 5 V:400 mA, 12 V:120 mA**)**
- **タイプⅠおよびタイプⅡの PC カードでも種類によっては 2 枚同時に使えない場合があります。**
- **ZV カード、SRAM カードおよび FLASH カード（ATA インターフェースを除く）は使用できません。**
- **PC カードの抜き差しを繰り返すと、カードによっては認識されなくなる場合があります。この場合は、再起動してください。**
- **PC カードによっては、2 枚同時に使用できない場合があります。**

Windows 2000

- **CardBus タイプのカードを 1 枚取り付けた後、もう 1 枚 CardBus タイプのカードを追加した場合、スタンバイ・休止状態機能を使わないでください。**
- **スタンバイ・休止状態からリジュームした後にコンピューターが動作しなくなった場合、PC カードを取り付けなおしてください。それでも正常に動作しない場合は、コンピューターを再起動してください。**

PCカードを取り外す・取り付ける

●PCカード（またはダミーカード）を取り外すとき

お願い

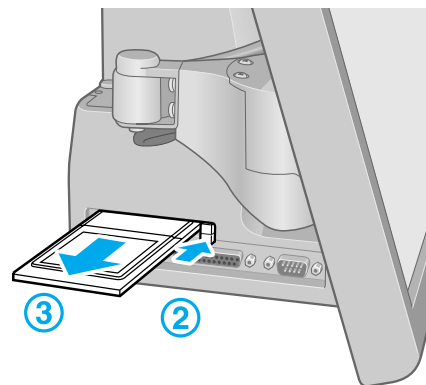
スタンバイ・休止状態のとき、機器の取り付け・取り外しを行わないでください。機器が破損したり、正常に動作しないことがあります。

① ＜ダミーカード以外のPCカードを取り外す場合のみ＞

Windows 2000　タスクバーの を選び、取り外すカードを選んで[停止]を選ぶ。確認画面で[OK]を選ぶ。（電源を切った状態で取り外す場合この手順は不要です）

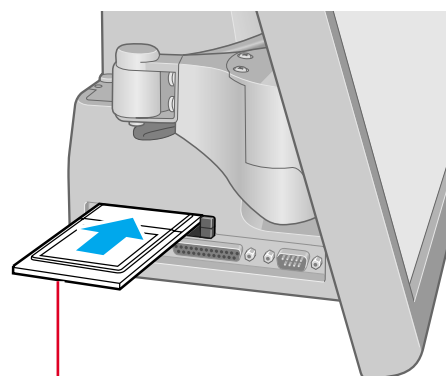
Windows XP　タスクバーの をダブルクリックして、取り外す機器を選んで[停止]を選びます。「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選ぶ。確認画面で[OK]を選ぶ。
（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

② ボタンを押す。ボタンが少し出てきます。再度ボタンを押す。

③ PCカードを抜く。

●PCカードを取り付けるとき

カードのラベル面を上にして、ゆっくりと奥まで差し込みます。

お願い

- 周辺機器を接続するタイプのPCカード（SCSIやIEEE 1394など）の場合、まずカードに周辺機器を接続し、周辺機器の電源を入れてからカードをスロットに入れてください。
- カードを差し込むときに重く感じた場合は、無理に差し込まないでください。またカードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。無理に押さないよう注意してください。PCカードスロットが破損したり、カードが取り出せなくなったりします。

カードのラベル面を上にして取り付ける

RAM モジュール

RAM モジュールを増設し、メモリーを増やすことによってWindowsやアプリケーションソフトの操作がより快適になり、作業効率をアップすることができます。

推奨RAM モジュールの仕様にあったモジュールを使用してください。仕様にあっていないRAM モジュールでは、データが使えなくなったり、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

＜Intel® Celeron™ プロセッサ搭載モデル＞

推奨 RAM モジュール		
品番	CF-BAF1064JS	64 M バイト
	CF-BAF0128AS	128 M バイト
	CF-BAG0256JS	256 M バイト
仕様	144 ピン、3.3 V、SO-DIMM、SDRAM、100 MHz	

＜Intel® Pentium® 4 プロセッサ搭載モデル＞

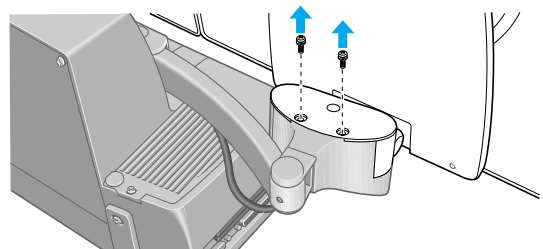
推奨 RAM モジュール		
品番	CF-BAR0256JS	256 M バイト
仕様	200 ピン、2.5 V、SO-DIMM、DDR-SDRAM、133 MHz	

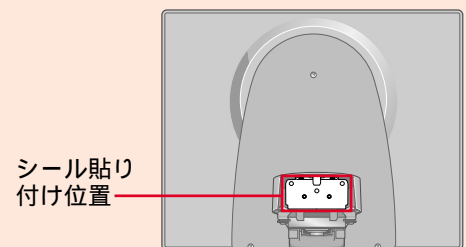
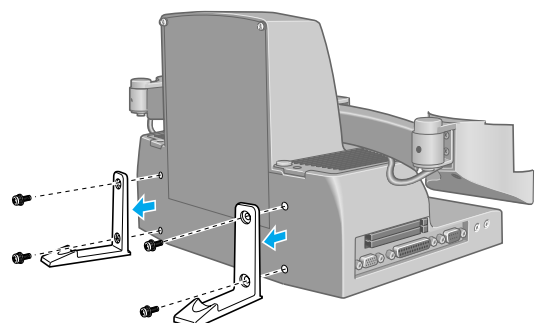
お願い

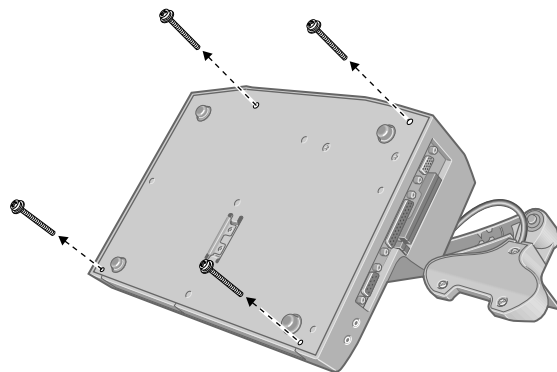
RAM モジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などに触ったり、ゼムクリップなどの異物を入れないでください。機器が破損したり、火災・感電の原因になります。

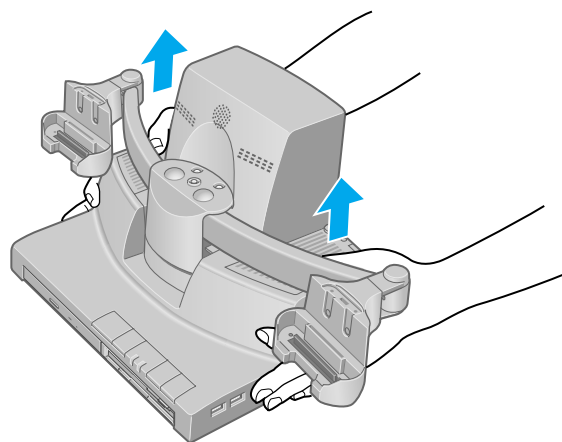
RAM モジュールを取り付ける・取り外す

1 スタンバイ・休止状態機能を使わずに操作を終わり、電源コードを取り外す

2 ＜ダブルディスプレイモデルのみ＞
ディスプレイを取り外す
ネジ（左右のディスプレイに各2本）を取り外し、静かに上に持ち上げます。

お願い

＜XGA ディスプレイ搭載モデルのみ＞
左右どちらに取り付けられていたディスプレイかわかるように、右側のディスプレイの右図の部分にオレンジ色のテープが貼り付けられています。このテープをはがさないようにしてください。

3 ＜ダブルディスプレイモデルのみ＞
転倒防止金具を取り外す

4 本体底面のネジを取り外す

柔らかい布などを敷いた上に、右図の向きに静かに置きます。底面のネジ（長いネジ４つ）を取り外します。

5 台座部を取り外す

台座部全体を上に持ち上げ、底面から台座部を取り外します。

6 ● RAM モジュールを取り付けるとき

① RAMモジュールを斜めから差し込みます。

② カチッと音がするまで倒します。

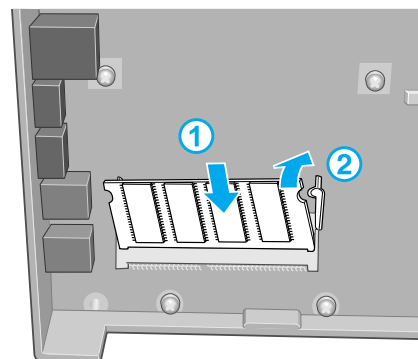
お願い

<Intel® Celeron™ プロセッサ搭載モデルのみ>
RAM モジュールを２枚取り付ける場合、RAM モジュールの容量の種類が３種類（例：内蔵128Mバイト、増設64Mバイト、256Mバイト）にならないようにしてください。容量の種類が３種類になると、動作速度が遅くなるなど、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

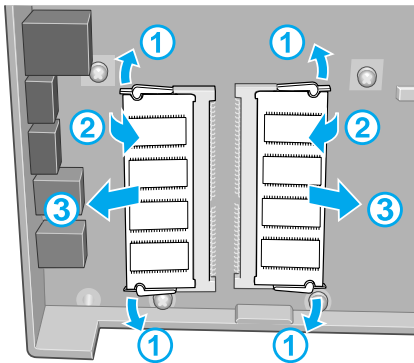
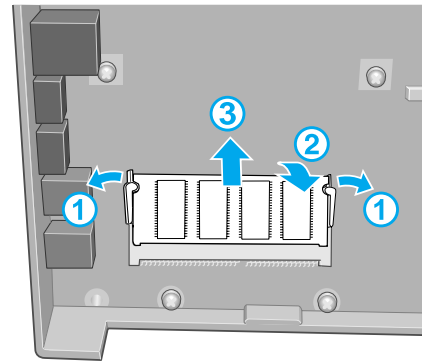
お知らせ

<Intel® Celeron™ プロセッサ搭載モデルのみ>
内蔵メモリーと増設のRAMモジュールの容量の合計が512Mバイトを超えても、本機では512Mバイトしか使用できません。

<Intel® Celeron™ プロセッサ搭載モデル>

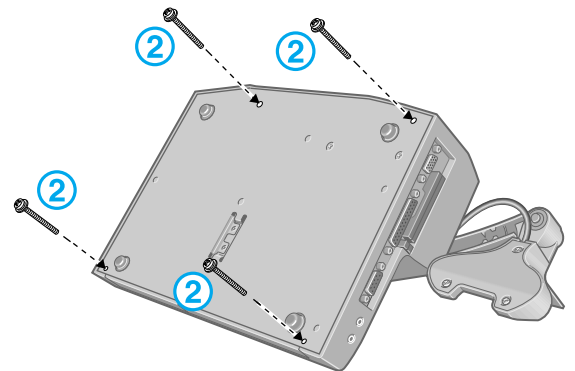
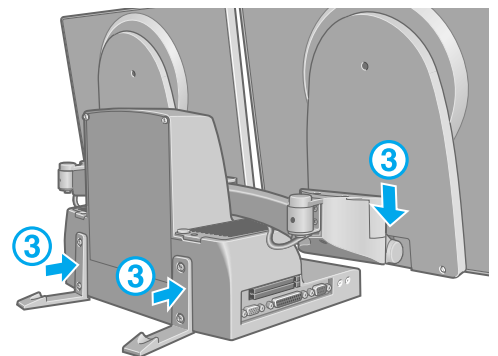
<Intel® Pentium® 4 プロセッサ搭載モデル>

RAM モジュール

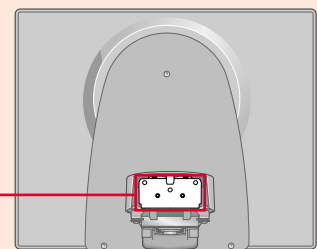
● RAM モジュールを取り外すとき

左右のフックを外側に広げ、ゆっくりとスロットから取り出します。

＜Intel® Celeron™ プロセッサ搭載モデル＞

＜Intel® Pentium® 4 プロセッサ搭載モデル＞

7 台座部を元どおりに取り付ける

① 台座部を元どおり取り付け、通風孔部分を上からしっかりと押します。

② *4* で取り外したネジ（長いネジ 4 つ）を底面に取り付ける。

③ ＜ダブルディスプレイモデルのみ＞
転倒防止金具、ディスプレイを取り付ける。

お願い

＜XGA 対応のダブルディスプレイモデルのみ＞
左右のディスプレイを、元の位置に取り付けてください。（右側のディスプレイの右図の部分にオレンジ色のテープが貼り付けられています。）左右を逆に取り付けると、ディスプレイを縦長にしたときに上下が逆に表示されます。

LAN 機能

本機は LAN 機能を内蔵しているため、LAN カードなどを使用することなく、ネットワークコンピューターとして使うことができます。

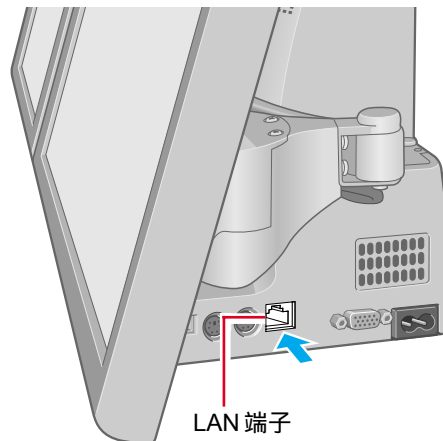
接続･設定する

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 ケーブルを接続する

市販の LAN ケーブルで本機とネットワークシステム（サーバー、 HUBなど)を接続します。

お願い

- ネットワークを正常に動作させるために 100 m 未満のカテゴリー 5 のツイストペアケーブルを使用してください。
- コネクター部分にカバーが付いているLANケーブルは、接続できない場合があります。事前にご確認ください。

3 電源を入れる

「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに F2 を押して、セットアップユーティリティの「LAN」が「有効」に設定されていることを確認してください。
（工場出荷時は、「有効」に設定されています。）

お知らせ

工場出荷時の状態で、LAN 機能は有効になっています。

4 プロトコル等の各種設定を行う

詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
以下の「お願い」を必ずお読みください。

お願い

- ネットワーク機能をお使いになる場合、スタンバイ・休止状態機能は使用しないでください。
  データが正しく送受信できないことがあります。
  データの転送中などでもタイムアウト機能が働き、自動的にスタンバイ・休止状態に入ることがありますので、タイムアウト機能を無効にしてください。
- ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。
  詳しくはネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

お知らせ

- HUB ユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワーク機能が使えない場合:

Windows 2000

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]を選び、[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]をダブルクリックする。
3. [詳細設定]を選ぶ。
4. 「プロパティ」の「Link Speed/Duplex Mode」を選び、「値」をお使いのネットワーク環境にあった通信速度に設定する。
5. [OK]を選び、「デバイスマネージャ」画面で×を選ぶ

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]を選び、[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]をダブルクリックする。
3. [詳細設定]を選ぶ。
4. 「プロパティ」で「Link Speed/Duplex Mode」を選び、「値」をお使いのネットワーク環境にあった通信速度に設定する。
5. [OK]を選び、「デバイスマネージャ」画面で×を選ぶ。

LAN Wake Up 機能

LAN Wake Up機能により、ネットワーク上のコンピューターを使ってスタンバイおよび休止状態から起動することができます。

●必ず電源コードを接続して電力の供給が可能な状態にしてください。

●LAN Wake Up機能は、以下の場合は動作しません。

- 4秒間電源スイッチを押して電源を切った場合
- パスワード入力に失敗して、再びスタンバイ状態、休止状態、電源オフ状態になった場合

LAN Wake Up機能の設定方法：

Windows 2000

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]の[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]をダブルクリックする。
3. [電源の管理]を選び、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」および「電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」にチェックマークを付け、[OK]を選ぶ。
（再度クリックしてチェックマークを外すと無効になります。）

Windows XP

1. [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]を選ぶ。
2. [ネットワークアダプタ]の[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]をダブルクリックする。
3. [電源の管理]を選び､｢このデバイスで､コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする｣および｢電力の節約のために､コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする｣にチェックマークを付ける。
   - 再度クリックしてチェックマークを外すと無効になります。
   - [コントロールパネル]-[電源の管理]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けないでください。

プリンター

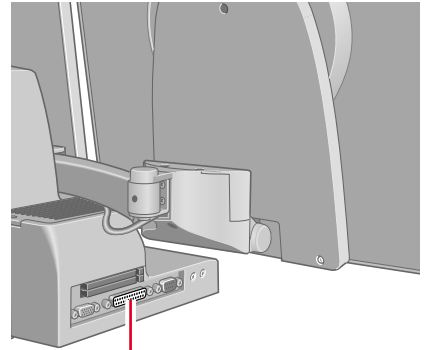
プリンターを使う

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 プリンターを本機のパラレルコネクターに接続する

3 プリンター、本機の順に電源を入れる

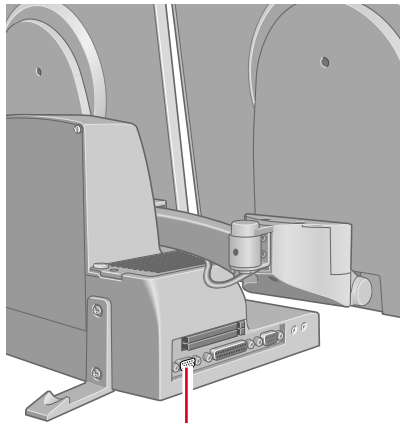
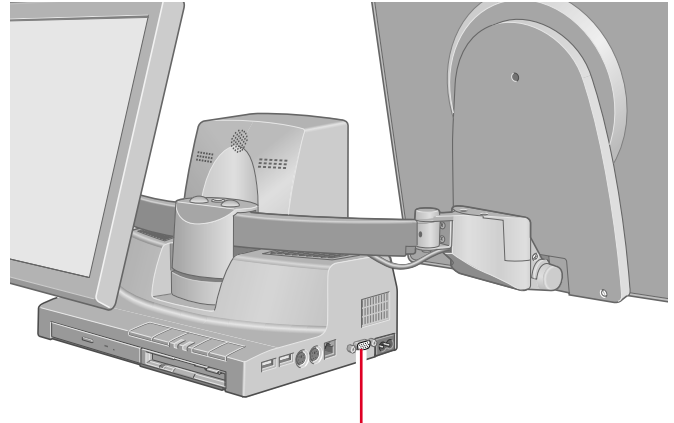
4 プリンターを設定する

[コントロールパネル]の[プリンタ]を選び、プリンターのアイコンを選んで[ファイル]-[通常使うプリンタ]を選びます。
接続したプリンターのアイコンがない場合は、[プリンタの追加]を選び、ドライバープログラムの設定を行います。プリンターに付属の取扱説明書または画面に従って操作してください。

お知らせ

- プリンターに付属のドライバーディスクが必要になる場合があります。
- ネットワークに接続されているプリンターを使う場合は、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
- USB プリンターを使う場合 ： 『USB 機器』

外部ディスプレイ

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 外部ディスプレイを本機の外部ディスプレイコネクターに接続する

外部ディスプレイコネクター１

外部ディスプレイコネクター２
（ダブルディスプレイモデルのみ）

お知らせ

・外部ディスプレイの設定・準備については、外部ディスプレイに付属の取扱説明書をお読みください。
・ダブルディスプレイの場合、接続するコネクターと表示される画面の関係は次の通りです。

外部ディスプレイコネクター１	左側のディスプレイの画面
外部ディスプレイコネクター２	右側のディスプレイの画面

3 外部ディスプレイ、本機の順に電源を入れる

外部ディスプレイ

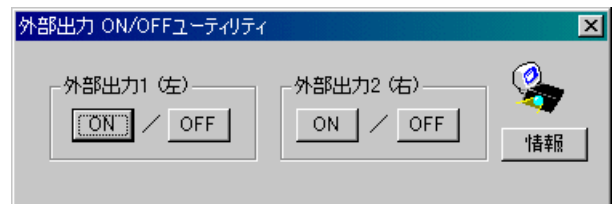
外部ディスプレイの表示は、次の手順でオン／オフすることができます。
電源オンの状態で外部ディスプレイを接続した場合､次の手順で外部ディスプレイの表示をオンにする必要があります。

外部出力 ON ／ OFF ユーティリティを使って、外部ディスプレイの表示をオン／オフすることができます。

お知らせ

ダブルディスプレイモデルの場合は、外部ディスプレイ1／2への表示を、個別にオン／オフすることができます。

外部ディスプレイへの表示をオン／オフしたい場合は、以下の手順を行ってください。

1. Windows 2000
   [スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[外部出力 ON ／ OFF]を選ぶ
   Windows XP
   [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[外部出力 ON ／ OFF]を選ぶ
2. 外部出力の ON ／ OFF を選ぶ
3. 画面右上の☒を選んで、ウィンドウを閉じる

お願い

Windows XP
外部ディスプレイコネクターに接続した外部ディスプレイにデスクトップを割り当てている（モニター番号3または4を「使用可能」に設定している）場合、外部ディスプレイで動画を再生しないでください。

お知らせ

- 外部出力 ON ／ OFF ユーティリティで外部ディスプレイの表示をオンにすると、コンピューター本体のディスプレイと外部ディスプレイには同じ画面が表示されます。
  その他の詳細な設定については、下記画面のヘルプを参照してください。
  Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[設定]-[詳細]-[画面]
  Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[画面]-[設定]-[詳細設定]-[画面]
- コンピューター本体のディスプレイと外部ディスプレイに同じ画面が表示されている状態では、コンピューター本体のディスプレイを回転させても、ディスプレイの表示は回転しません。
- コンピューター本体のディスプレイを縦長にした状態で、対応する外部出力を ON にすることはできません。

Windows XP
- 外部ディスプレイコネクター1に接続した外部ディスプレイにデスクトップを割り当てている（モニター番号3を「使用可能」に設定している）場合、「外部出力1」の ON ／ OFF を切り換えることはできません。
- 外部ディスプレイコネクター2に接続した外部ディスプレイにデスクトップを割り当てている（モニター番号4を「使用可能」に設定している）場合、「外部出力2」の ON ／ OFF を切り換えることはできません。

USB 機器

お願い

- **レガシー USB 機器を使用する場合:**
  PS/2タイプのキーボード（付属のキーボードなど）を使って、セットアップユーティリティの「詳細」メニューの「レガシー USB」を「有効」に設定してください。その後、レガシー USB 機器を取り付けてください。
  レガシー USB 機器とは、電源を入れた後、Windows が起動していない状態でも動作する USB 機器（マウスやキーボードなど）のことです。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。

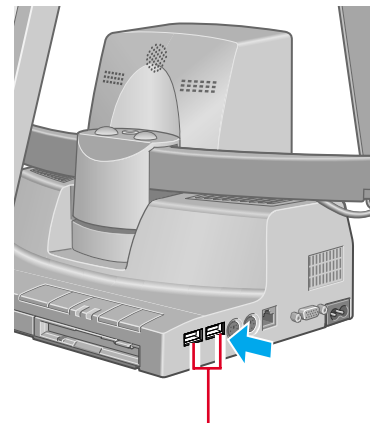
USB 機器を取り付ける・取り外す

取り付ける

1 スタンバイ・休止状態機能を使わず操作を終わる

2 USB 機器を接続する

お知らせ

- 接続およびドライバープログラムのインストール方法については、USB 機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- USB 機器を接続しているときは、スタンバイ・休止状態機能が動作しない場合があります。また、コンピューターが正常に起動しないとき、USB 機器をいったん取り外して再起動してください。

取り外す

1 Windows 2000

タスクバーの を選び、取り外す機器を選んで「停止」を選ぶ

確認画面で[OK]を選ぶ。

（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

Windows XP

タスクバーの をダブルクリックし、取り外す機器を選んで「停止」を選ぶ

「ハードウェアデバイスの停止」画面で[OK]を選びます。

（電源を切った状態で取り外す場合または が表示されていない場合、この手順は不要です。）

2 USB 機器の電源を切り、USB 機器を取り外す

セットアップユーティリティ

起動する

1 電源を入れる、または再起動する

2 「Press F2 to enter SETUP」が表示されている間に F2 を押す
[パスワードを入力してください]が表示されたらパスワードを入力してください。

お知らせ

- 詳しくは F1 を押して「ヘルプ」を参照してください。
- セットアップユーティリティを終了するとき： 『終了メニュー』

パスワードについて

●スーパーバイザーパスワードを入力すると ...

セットアップユーティリティのすべての項目が選択できます。

●ユーザーパスワードを入力すると ...

スーパーバイザーパスワードやシリアルポートなど、セットアップユーティリティの詳細設定の変更を防止するため、以下の内容が制限されます。(ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。)

- 「詳細」メニューのすべての項目が選択できません。
- 「セキュリティ」メニューの「ユーザーパスワード設定」のみが選択できます。
  (「ユーザーパスワード保護」が「保護する」に設定されている場合、「セキュリティ」メニューのすべての項目が選択できません。)
- 「終了」メニューの「デフォルト設定する」が表示されません。
- 「終了」メニューの「設定を戻す」が選択できません。
- 工場出荷時の設定に戻すための F9 キーが無効になります。
- すべての項目を選択できるようにするには、[パスワードを入力してください]が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

キー操作について

F1 : ヘルプ情報の表示

Enter : サブメニューの表示

Esc : 「終了」メニューの表示

← → : メニュー間のカーソル移動

↑ ↓ : 項目間のカーソル移動

F5 F6 : 設定値間のカーソル移動

F9 : 工場出荷時の設定（パスワードを除く）にする
セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、このキーは無効です。

F10 : 設定を保存して終了

メインメニュー

機種品番:	CF-82xxxx
製造番号:	xxxxxxxxxx
BIOS バージョン:	Vx.xxLxx
システム時間:	[xx:xx:xx]
システム日付:	[xxxx/xx/xx]
メモリーサイズ:	xxx MB
プライマリーマスター:	xx GB*1
セカンダリーマスター:	CDドライブ
スピーカー:	[有効]

*1 1GB=10^9バイト

設定項目

（___:工場出荷時の設定）

スピーカー	無効 有効

詳細メニュー

シリアルポート:	[自動]
パラレルポート:	[自動]
モード:	[ECP]
カードバスコントローラー:	[有効]
LAN:	[有効]
LAN Wake Up機能:	[無効]
レガシーUSB:	[有効]

お知らせ

セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、「詳細」メニューのすべての項目が選択できません。

設定項目

（___:工場出荷時の設定）

項目					
シリアルポート		無効	有効	自動	
	I/O IRQ*1	3F8/IRQ4	2F8/IRQ3		
パラレルポート		無効	有効	自動	
	モード*2	単方向	双方向	EPP	ECP
	I/O IRQ*2	378/IRQ7	278/IRQ5		
カードバスコントローラー		無効	有効		
LAN		無効	有効		
	LAN Wake Up機能*3	無効	有効		
レガシーUSB*4		無効	有効		

*1 「I/O IRQ」は、「シリアルポート」が「有効」に設定されているときのみ表示。

*2 「パラレルポート」の設定によって表示内容が異なります。（☞下記）

*3 「LAN」が「無効」に設定されているとき、「無効」に設定されます。
また、Windows 起動後は動作しません。
[コントロールパネル]で設定してください（☞『LAN 機能』）。

*4 レガシー USB 機器とは、電源を入れた後、Windows が起動していない状態でも動作する USB 機器（マウスやキーボードなど）のことです。Windows を使用する場合は、必ず「無効」に設定してください。

パラレルポートの表示内容

パラレルポート	モード	I/O IRQ
無効	表示されない	表示されない
有効	表示	表示
自動	表示	表示されない

もくじ　戻る
印　刷　索　引

セキュリティメニュー

起動時のパスワード:	[有効]
▶スーパーバイザーパスワード設定:	[Enter]
ハードディスク保護:	[無効]
ユーザーパスワード保護:	[保護しない]
▶ユーザーパスワード設定:	[Enter]
フロッピー操作:	[有効]
CD操作:	[有効]

お知らせ

セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合：
- 「ユーザーパスワード設定」のみが選択できます。
- 「ユーザーパスワード保護」が「保護する」に設定されている場合、「セキュリティ」メニューのすべての項目が選択できません。

設定項目

(___:工場出荷時の設定)

項目	設定	
起動時のパスワード	無効	有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示	
ハードディスク保護[*1]	無効	有効
ユーザーパスワード保護	保護しない	保護する
ユーザーパスワード設定[*2]	サブメニュー表示	
フロッピー操作	無効	有効
CD操作	無効	有効

[*1] スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。
[*2] スーパーバイザーパスワードが設定されているとき、またはスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードを設定していても「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されているとき、選択できます。

省電力管理メニュー

省電力モード:	[標準]
HDD モータータイムアウト:	10 分
エコモードタイムアウト:	10 分
電源スイッチ:	[オフ]

設定項目

(___:工場出荷時の設定)

項目	設定		
省電力モード*	無効	標準	高度
HDD モータータイムアウト*	省電力モードの設定によって自動的に変わります。 (無効 / 10 分 / 4 分)		
エコモードタイムアウト*	省電力モードの設定によって自動的に変わります。 (無効 / 10 分 / 4 分)		
電源スイッチ*	スタンバイ	オフ	

* Windows起動後は動作しません。省電力の設定はWindowsで行ってください。(『省電力機能』)

セットアップユーティリティ

起動メニュー

フロッピードライブ
ハードディスクドライブ
CD ドライブ
LAN

工場出荷時の設定は、[フロッピードライブ]-[ハードディスクドライブ]-[CD ドライブ]-[LAN]の順です。

- 優先順位を 1 つ上げる場合は、↑↓でデバイスを選択して F6 を押す。
- 優先順位を 1 つ下げる場合は ↑↓でデバイスを選択して F5 を押す。

お知らせ

- オペレーティングシステムを起動するデバイスは、コンピューター起動時にも選択することができます。電源を入れ、「Press ESC to enter Boot First Menu」が表示されているときに Esc を押すと、デバイスの選択画面が表示されます。「起動」メニューの設定を変更すると、選択画面の表示も変更されます。
（☞ 取扱説明書『操作を始める / 終わる』）

終了メニュー

設定を保存して終了
設定を保存しないで終了
デフォルト設定する
設定を戻す
設定を保存する

設定項目

設定を保存して終了	設定内容を保存して終了する
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了する
デフォルト設定する	工場出荷時の設定にする セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、この項目は表示されません。
設定を戻す	変更前の設定に戻す セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、この項目は選択できません。
設定を保存する	設定内容を保存する

ネットワーク接続や通信ソフトウェアについて

ネットワーク環境でお使いの時（通信ソフトウェア使用中など）に、省電力機能が働くと、ネットワーク接続が切断されてエラーになることがあります。これらが発生したときにはコンピューターを再起動してください。
ネットワーク環境でお使いの時は、省電力のタイムアウト機能を無効に設定してください。また、省電力のため画面が消えた状態やスタンバイ・休止状態に入る場合は、通信ソフトウェアを終了してください。

3 モードドライバーのインストール

3 モードドライバーは、1.2 M バイトのフロッピーディスクを使用するために必要です。工場出荷時および再インストールを行った後は、3 モードドライバーはインストールされていません。

お知らせ

3 モードドライバーは、Administrator またはコンピューターの管理者の権限がなければインストールおよびアンインストールできません。

Windows 2000

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクコントローラ]-[標準フロッピーディスクコントローラ]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 ウィザードの開始画面で[次へ]を選ぶ。
5 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
6 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して[OK]を選ぶ。
7 [Panasonic 3-mode floppy controller]を選び、[次へ]を選ぶ。
8 [はい]-[次へ]を選び、[完了]を選ぶ。
9 [Panasonic 3-mode floppy controller のプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。
10「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクドライブ]-[フロッピーディスクドライブ]を選ぶ。
11 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
12 ウィザードの開始画面で[次へ]を選ぶ。
13 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
14 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して、[OK]を選ぶ。
15 [Panasonic 3-mode floppy disk driver]を選び、[次へ]を選ぶ。
16 [次へ]を選び、[完了]を選ぶ。
17 [Panasonic 3-mode floppy disk drive のプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。

（次ページへ）

Windows XP

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクコントローラ]-[標準フロッピーディスクコントローラ]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
5 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
6 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して、[OK]を選ぶ。
7 [Panasonic 3-mode floppy controller]を選び、[次へ]を選ぶ。
8 [完了]を選ぶ。
9 [Panasonic 3-mode floppy controller のプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。
10 「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクドライブ]-[フロッピーディスクドライブ]を選ぶ。
11 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
12 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
13 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
14 [ディスク使用]を選び、ファイルのコピー元に[c:\util\drivers\3mode]と入力して、[OK]を選ぶ。
15 [Panasonic 3-mode floppy disk driver]を選び、[次へ]を選ぶ。
16 [続行]を選び、[完了]を選ぶ。
17 [フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。

● 3モードドライバーのアンインストール（標準のドライバーに戻すとき）

Windows 2000

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクドライブ]-[Panasonic 3-mode floppy disk driver]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 ウィザードの開始画面で[次へ]を選ぶ。
5 [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]を選ぶ。
6 [検索場所のオプション]のすべての項目からチェックマークを外し、[次へ]を選ぶ。
7 [別のドライバを１つインストールする]にチェックマークを付けて、[次へ]を選ぶ。
8 [フロッピーディスクドライブ]を選び、[次へ]を選ぶ。
（２つ以上表示される場合は、推奨ドライバ側を選んでください。）
9 [完了]を選び、「フロッピーディスクドライブのプロパティ」画面で[閉じる]を選ぶ。
10 「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクコントローラ]-[Panasonic 3-mode floppy controller]を選ぶ。
11 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
12 ウィザードの開始画面で[次へ]を選ぶ。
13 [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
14 [標準フロッピーディスクコントローラ]を選び、[次へ]を選ぶ。
（２つ以上表示される場合は、推奨ドライバ側を選んでください。）
15 [次へ]を選ぶ。
16 [完了]を選び、「標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ」画面で[閉じる]を選ぶ。

（次ページへ）

技術情報

Windows XP

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を選ぶ。
2 [フロッピーディスクドライブ]-[フロッピーディスクドライブ]を選ぶ。
3 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
4 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
5 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
6 [フロッピーディスクドライブ]を選び、[次へ]を選ぶ。
7 [完了]を選ぶ。
8 [フロッピーディスクドライブのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。
9 「デバイスマネージャ」画面で[フロッピーディスクコントローラ]-[Panasonic 3-mode floppy controller]を選ぶ。
10 [ドライバ]-[ドライバの更新]を選ぶ。
11 [一覧または特定の場所からインストールする]を選び、[次へ]を選ぶ。
12 [検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]を選ぶ。
13 [標準フロッピーディスクコントローラ]を選び、[次へ]を選ぶ。
(2つ以上表示される場合は、推奨ドライバ側を選んでください。)
14 [完了]を選ぶ。
15 [標準フロッピーディスクコントローラのプロパティ]画面で[閉じる]を選ぶ。

- 1.2 M バイトのフォーマット

Windows 2000

1 [マイコンピュータ]-[3.5 インチ FD(A:)]-[ファイル]-[フォーマット]を選ぶ。
2 「容量」から[1.2 MB]を選び、[開始]を選ぶ。

お知らせ

Windows XP

3 モードドライバーをインストールしても、フロッピーディスクを 1.2 M バイト形式でフォーマットすることはできません。

セキュリティ機能

セットアップユーティリティのセキュリティ機能とは別に Windows のセキュリティ機能があります。詳細については、Windows ヘルプを参照してください。

お知らせ

- 機密保護のため、パスワードを設定してください。
- Windows のセキュリティ機能を使うには、NTFS ファイルシステムを使用することをおすすめします。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードが正しく接続されているか確認してください。
0251 システム CMOS のチェックサムが正しくありません。－デフォルト値が設定されました。	CMOS データがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ●セットアップユーティリティでいったん工場出荷時の設定(デフォルト設定)にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ●それでもエラーになる場合は、CMOS バックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時間が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時間を正しく設定してください。
0280 起動を3 回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてから OS が起動するまでに、3 回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。なお、正しく OS を起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。 オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。－バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOS バックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。 －キャッシュは使用できません。	CPU の故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

DMI ビューアー

本機は DMI(Desktop Management Interface)の規格に準拠しています。
CPU やメモリーをはじめ、本機がサポートしているシステムの情報を知りたいときに使います。

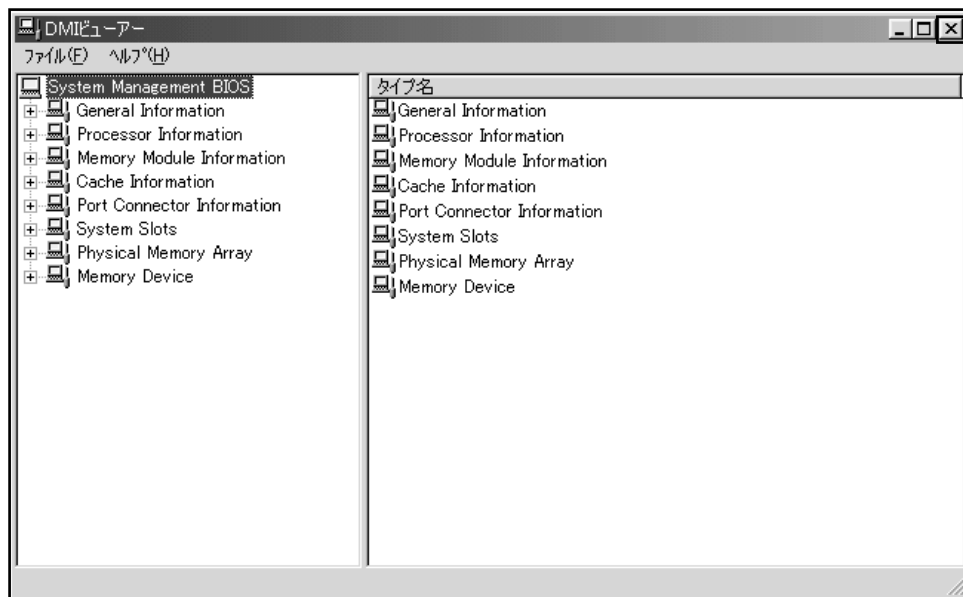
DMI ビューアーを起動する

Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[DMI ビューアー]を選ぶ

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[DMI ビューアー]を選ぶ

以下のような画面が表示されます。
項目を選ぶと詳細情報を表示します。

情報ファイルを保存する

表示している内容をテキスト形式（.txt）にファイル保存することができます。
DMI ビューアーを起動し、保存したい情報を表示します。

1 ●表示されている項目を保存する場合
[ファイル]メニューから[表示中のデータを保存]を選ぶ。

●すべての項目を保存する場合
[ファイル]メニューから[すべてのデータを保存]を選ぶ。

2 ファイル名（およびフォルダー）を指定し、[保存]を選ぶ

こんなときは

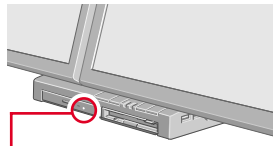
本機を動かそうとして、思ったとおりに動かなかったり、おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。
アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプが点灯しない	●電源コードが、正しく接続されていますか？ ●電源コードを本体から取り外し、接続し直してください。
が表示された	セットアップユーティリティで設定しているパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
エラーコード・メッセージが表示された	『エラーコードが表示されたら』
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 「デフォルト設定する」* を選び、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻した後、再度各種設定をしてください。 (動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。)
日付と時刻が正しく表示されない	●セットアップユーティリティまたは下記の操作で正しい日付/時刻を設定してください。 Windows 2000：[コントロールパネル]-[日付と時刻] Windows XP：[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ●正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー(リチウム電池)の残量がない可能性があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 ●LAN（ネットワーク）に接続している場合、サーバーの日付/時刻を確認してください。 ●西暦2100年以降は、日付と時間が正しく認識されません。
Windows 2000 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key.」と表示される Windows XP 「Remove disks or other Press any key to restart」と表示される	● システムを起動できないフロッピーディスクが、ドライブにセットされたままになっていることを意味します。この場合、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて、何かキーを押してください。 ● フロッピーディスクが入っていないのに上記のメッセージが表示される場合、ハードディスクをフォーマットしたか、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。この場合、ご相談窓口にご相談ください。
Administrator のパスワードを忘れた	再インストールした後、Windowsをセットアップしてパスワードを設定し直してください。
Windows 2000 スタートメニューの一部しか表示されない	● 簡易メニュー表示機能(よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。 をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。 ● 常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーとスタートメニュー]を選び、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。

* セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合、「デフォルト設定する」は表示されません。

●電源を入れたとき

スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、が表示されない	セットアップユーティリティでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはパスワード入力は要求されません。 Windows 2000 代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。
ハードディスクから異音がする	長期間使用しなかった場合、起動時に異音がすることがあります。異音がしても、Windowsが正常に起動すれば問題はありません。Windowsが正常に動作しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
その他の問題が起こる場合	●セットアップユーティリティを起動し、F9を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。 ●周辺機器を取り外してみてください。 ●起動時、パスワードの入力、ログオンの操作、ユーザーの選択は、ハードディスク状態表示ランプ()が消えてから10秒以上たってから行ってください。 Windows 2000 ●[マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選ぶ。 ●起動時、「Windowsを起動しています」が表示されているときにF8を押し、セーフモードで起動して、エラー内容を確認してください。 Windows XP ●[スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク(C:)]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選び、[ツール]-[チェックする]を選ぶ。

●ディスクの操作

フロッピーディスクを初期化する方法がわからない	●[マイコンピュータ]-[3.5インチFD(A:)]-[ファイル]-[フォーマット]を選び、ディスクの容量やフォーマットの種類を確認してフォーマットを開始してください。 Windows 2000 ●1.2 Mバイトのフォーマットを行うには、3モードドライバーのインストールが必要です。(『技術情報』) [マイコンピュータ]-[3.5インチFD(A:)]-[ファイル]-[フォーマット]で、[容量]の項目で1.2 Mバイトフォーマットが選択できる場合はすでにインストールされています。 Windows XP ●1.2 Mバイトおよび720 Kバイトのフォーマットを行うことはできません。

●ディスクの操作

フロッピーディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは正しく初期化(フォーマット)されていますか？ ●セットアップユーティリティで、「フロッピー操作」を「有効」に設定していますか？ ●フロッピーディスクの内容が壊れている場合があります。
フロッピーディスクへの書き込みができない	フロッピーディスクが書き込み禁止になっていませんか？
1.2 Mバイトフロッピーディスクで読み出しも書き込みもできない	3モードドライバーはインストールされていますか？ (インストール方法 『3モードドライバーのインストール』)
ハードディスクのデータの読み出しも書き込みもできない	●ドライブやファイルの指定に誤りがないか確認してください。 ●ハードディスクの空き容量は足りていますか？ ●ハードディスクの内容が壊れている場合があります。お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。
CDでトラブルが発生した	指定の方法（『CDドライブ』） で、レンズやCDのクリーニングを行ってください。
アクセスランプが点灯しない。	CDは正しくトレイにセットされていますか？
CDの再生や読み出しができない。	●CDが変形していたり、傷や汚れが付いていませんか？ ●セットアップユーティリティで、「CD操作」を「有効」に設定していますか？
突然、MPEG画像が残った青い画面になった	CDドライブから、MPEGのCDを取り出しませんでしたか？ CDをセットして Enter を押してください。
CDドライブの振動が大きい	変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？
CDが取り出せない	コンピューターの電源が入っていますか？ 電源が入っていない状態でCDを取り出すには、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んで、トレイを引き出してください。 エマージェンシーホール
上記以外の場合	他のドライブやメディアで試してみてください。

●画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	●輝度（明るさ）を調整してください。（ 取扱説明書『各部の名称と働き』） ●外部ディスプレイの画面に何も表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイは正しく設定されていますか？
電源を切っていないのに、しばらくしたら画面に何も表示されなくなった	●省電力の設定をしていますか？ Ctrl などのキーを押すかマウスを操作して、省電力のため画面が消えた状態になっていないか確認してください。 ●電力の消費を抑えるため、自動的にスタンバイ・休止状態に入っている場合があります。
画面の解像度が切り換えられない	Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[画面]-[背景]で壁紙を「なし」に設定して[OK]を選び、再度解像度を変更してください。変更後、必ず再起動してください。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[デスクトップの表示とテーマ]-[デスクトップの背景を変更する]で背景を「なし」に設定して[OK]を選び、再度解像度を変更してください。変更後、必ず再起動してください。
画面に赤・青・緑のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	●イメージが画面に焼き付き、残像となることがありますが、異常ではありません。別の画面が表示されると残像は消えます。 ●カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑）するものがあります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 % 以下）
マウスカーソルが動かない	マウスを正しく接続し、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 キーボードを使って再起動するとき Windows 2000 ⊞（または Ctrl + Esc ）を押し、「シャットダウン」を選びます。 Windows XP ⊞（または Ctrl + Esc ）を押し、「終了オプション」を選びます。
外部ディスプレイに正しく表示されない	コンピューターの省電力機能に対応していないディスプレイを使っている場合、省電力のために画面が消えると、それ以降、外部ディスプレイに正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
画面が乱れる	●画面の解像度・色数を変更した場合は再起動してください。 Windows XP ●ユーザーの簡易切り替えを行うと、コマンドプロンプトを全画面表示したときに画面が乱れます。再起動してください。
Windows XP ごみ箱などのアイコンや、IMEの言語バーの位置が変わる	スクリーンセーバーが起動したり、ディスプレイを回転させたり（ダブルディスプレイモデルの場合のみ）すると、アイコンや言語バーの位置が変わる場合があります。必要に応じて位置を調整してください。

●画面表示（ダブルディスプレイモデルのみ）

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	●「画面のプロパティ」で使用しない設定にしていませんか？ モニター番号を右クリックして確認してください。 ●「画面表示ON／OFFユーティリティ」で外部ディスプレイへの画面出力を[OFF]にしていませんか？ ●動画を再生するようなアプリケーションソフトによっては、ダブルディスプレイに対応していない場合があります。
2画面最大化ができない	「画面のプロパティ」の[設定]で、両方のディスプレイの色、画面領域、水平位置が同じに設定してあるか確認してください。2画面最大化するには、すべて同じに設定しておく必要があります。
ウィンドウのサイズが変わらない	□(最大化）や□(元のサイズに戻す）が表示されていないウィンドウやプロパティ画面は、ディスプレイアシスト機能でも最大化やサイズ変更されません。
ディスプレイ間のカーソル移動ができない	「画面のプロパティ」の[設定]で、モニター番号の配置とプライマリディスプレイの位置が正しく設定されているか確認してください。 （☞『ダブルディスプレイ』）
アイコンの位置が正しく表示されない	デスクトップ上を右ボタンでクリックし、[アイコンの整列]を選んでください。
<XGAディスプレイ搭載モデルのみ> ディスプレイを回転させたあと、画面表示が正しい向きに回転しない	●ディスプレイを縦長の状態にしている場合、Windowsが起動していない状態、コマンドプロンプトを最大化した状態では、画面表示が正しい向きで表示されません。また、音声調整ボリュームを押したときに表示されるアイコン（ ）も、正しい向きで表示されません。 ●両方のディスプレイを横長の状態にして画面の解像度をLCDの解像度（1024ドット×768ドット）にあわせてから、ディスプレイを回転させてください。 ●下記で、「ATIタスクバーアイコンのアプリケーションを有効にする」にチェックマークが付いているか確認してください。 Windows 2000 ：「画面のプロパティ」の[設定]-[詳細]-[オプション] Windows XP ：「画面のプロパティ」の[設定]-[詳細設定]-[オプション] ● Windows 2000 「画面のプロパティ」で表示色を256色にしている場合、画面表示は回転しません。ディスプレイを回転させる場合は、表示色を256色以外に設定してください。 ●上記の操作をしてみても正しく回転しない場合、Windowsを再起動してください。

困ったときのQ&A

●文字入力

日本語が入力できない	Windows 2000 タスクバー上にが表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。Alt + 半角／全角で日本語入力モードにしてください。 Windows XP タスクバー上にあが表示されていますか？表示されていない場合は、日本語入力モードになっていません。半角／全角で日本語入力モードにしてください。
アルファベットを小文字で入力したいのに大文字で表示される	キーボードのCaps Lockランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合、大文字入力モードになっています。解除するには、Shift + Caps Lock を押します。
欧文特殊文字（ßàçïなど）や記号が入力できない	Windows 2000 [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。 Windows XP [スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[文字コード表]を選んでください。文字コード表が表示されます。フォント名を欧文用フォントなどに指定して、入力したい文字を選んでください。

●セットアップユーティリティ

[パスワードを入力してください]が表示された	ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
「ユーザーパスワード設定」が選択できない	●スーパーバイザーパスワードを設定してください。 ●すでにスーパーバイザーパスワードが設定されている場合、「ユーザーパスワード保護」を「保護する」に設定していると、選択できません。
●「詳細」メニューの項目が選択できない ●「セキュリティ」メニューで選択できない項目がある ●F9が効かない ●「終了」メニューに「デフォルト設定する」が表示されない	スーパーバイザーパスワードでセットアップユーティリティを起動してください。

●周辺機器の接続

周辺機器が動作しない （ドライバーのインストール中にエラーが発生する）	PCカードおよび各種周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OSに対応したドライバーを使用してください。未対応のドライバーを使用すると不具合が発生することがあります。ドライバーについては、購入された周辺機器の製造元にお問い合わせください。
印刷できない	●本機とプリンターは正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●プリンターはオンライン状態になっていますか？ ●用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ●セットアップユーティリティで「パラレルポート」を「有効」または「自動」に設定していますか？ ●プリンターによっては、EPP または ECP が動作しないことがあります。

●周辺機器の接続

シリアルコネクターに接続しているシリアル機器が動かない	●ケーブルは正しく接続されていますか？ ●シリアル機器のデバイスドライバーは動いていますか？ お使いのシリアル機器のマニュアルを参照してください。 ●シリアルコネクターとマウス端子の両方にマウスを接続していませんか？ ●セットアップユーティリティで、「シリアルポート」を「有効」または「自動」に設定していますか？
PCカードが使えない	●PCカードの方向を確認して正しくスロットに取り付けてください。 ●PC Card Standard規格に準拠したPCカードを使っていますか？ ●PCカードドライバーまたは他のデバイスドライバーをインストールした後は、必ずコンピューターを再起動してください。 ●PCカードで使われているI/Oポートなどのリソースが正しいか（競合していないか）確認してください。 ●セットアップユーティリティで「カードバスコントローラー」を「有効」に設定していますか？ ●PCカードに付属の取扱説明書をお読みください。または、PCカードの製造元にご相談ください。 ●OSに対応したドライバーがインストールされているか確認してください。
使えるRAMモジュールがわからない	『RAMモジュール』
RAMモジュールが認識されない	●RAMモジュールの方向を確認して正しいスロットに取り付けてください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。（『RAMモジュール』）
割り込み要求(IRQ)、I/Oポートアドレス等、アドレスマップがわからない	Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で[表示]メニューから[リソース（種類別）]を選ぶと、現在のそれぞれのアドレスマップを表示することができます。 Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]で[表示]メニューから[リソース（種類別）]を選ぶと、現在のそれぞれのアドレスマップを表示することができます。
USB機器が動作しない	●ドライバープログラムをインストールしましたか？ ●機器メーカーに問い合わせてください。

●ネットワーク

ネットワークに接続できない	●セットアップユーティリティで「LAN」を「有効」に設定していますか？ ●I/Oアドレス、割り込みレベル、メモリーアドレスは正しく設定されていますか？ 他の周辺機器と競合していないことを確認してください。 ●HUBとの接続に10BASE-T用ケーブルまたは100BASE-TX用ケーブルを使用していますか？ ●HUBユニットのリンクランプが点灯せず、ネットワークが使えない場合、HUBユニットにあわせた速度の設定を行ってください。(『LAN機能』) ●ネットワークコンピューターとして使う場合、用途に応じてその他いくつかの設定が必要となります。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。 ●スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはコンピューターの再起動が必要です。 ● Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]-[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]のプロパティの[全般]-[デバイスの使用状況]が「このデバイスを使う（有効）」に設定されていますか？（工場出荷時は、「このデバイスを使う（有効）」に設定されています。） Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ネットワークアダプタ]-[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC]のプロパティの[全般]-[デバイスの使用状況]が「このデバイスを使う（有効）」に設定されていますか？（工場出荷時は、「このデバイスを使う（有効）」に設定されています。）
電子メール、WWW、イントラネットが見えない（TCP/IPを使用している場合）	●LANケーブルは正しく接続されていますか？ ●IPアドレスの設定、サブネットマスクの設定、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。 ●コマンドプロンプトでIPCONFIGコマンドを実行して、環境を調べてください。
外部のWWWが見えない	●プロキシサーバーなどのアドレスを調べてください。 ●ネットワーク担当のシステム管理者に設定を確認してもらってください。

●その他

ハングアップした	● Ctrl + Alt + Delete を押して、[シャットダウン]を選んでください。 ●電源スイッチを4秒以上押して電源を切った後、電源を入れてアプリケーションソフトを再度起動してください。それでも正常に動作しない場合は、下記でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再インストールしてください。 Windows 2000：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] Windows XP：[スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]
音がでない	●音量調整ボタンを押して音量を最小にしていたり、ミュートにしていませんか？ ●セットアップユーティリティで「スピーカー」を「有効」に設定していますか？ ●Windows Media Playerで音楽再生中にスタンバイ・休止状態機能を使うと、リジューム後再生が始まらない場合があります。この場合は、Windows Media Player を起動し直してください。
音楽CDの音量が調整できない	[ボリュームコントロール]の「WAVE」で調整してください。

●休止状態

「休止状態をサポートする」にチェックマークが付けられない	チェックマークを付けるには、下記の「休止状態にするために必要なディスク領域」に表示された空き領域が必要です。この領域を使用してしまった場合は、チェックマークを付けることができません。不要なファイルを削除するなどして空き領域を確保してください。 Windows 2000：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[電源オプション]-[休止状態] Windows XP：[スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[休止状態]

索引